

会報

第 25 号



公益社団法人 神戸海難防止研究会

THE KOBE MARINE CASUALTY PREVENTION INSTITUTE

表紙写真

高知港 航空写真

(提供 関西空港海上保安航空基地)

目 次

第55回 月 例 会 概 要

(1) 事業経過報告等	1
(2) 講演 「海技教育機構 練習船乗船実習について」	
～帆船 海王丸遠洋航海記録～	
独立行政法人 海技教育機構	
神戸分室長 馬 谷 正 樹 氏	

第56回 月 例 会 概 要

(1) 事業経過報告等	14
(2) 講演 「操船事故例とヒヤリハット」	
川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー 神戸造船工場	
船渠長 八 木 武 人 氏	

事 業 報 告

神戸港大型クルーズ客船受入れに係る航行安全対策検討調査検討部会	31
平成30年度第1回船積危険品研究委員会	33
神戸港大型クルーズ客船受入れに係る航行安全対策検討調査第2回委員会	37
平成30年度近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議	40

会 業 報 告

第55回業務運営会議	53
第19回通常理事会	55
第56回業務運営会議	58
第7回定期総会	60
第20回通常理事会	63

事務日誌抄	66
お知らせ	67
・海の事故ゼロキャンペーン	

第55回 月 例 会 概 要

1 日 時 平成30年4月26日(木)15:00～16:30
2 場 所 神戸市立 こうべまちづくり会館 2階ホール
3 出 席 者 30名
4 概 要

(1) 事業経過報告等

伊藤専務理事から事業報告及び会務報告が行われた。

(2) 講 演

独立行政法人 海技教育機構

神戸分室長 馬谷 正樹氏により

「海技教育機構 練習船乗船実習について」

～帆船 海王丸遠洋航海記録～

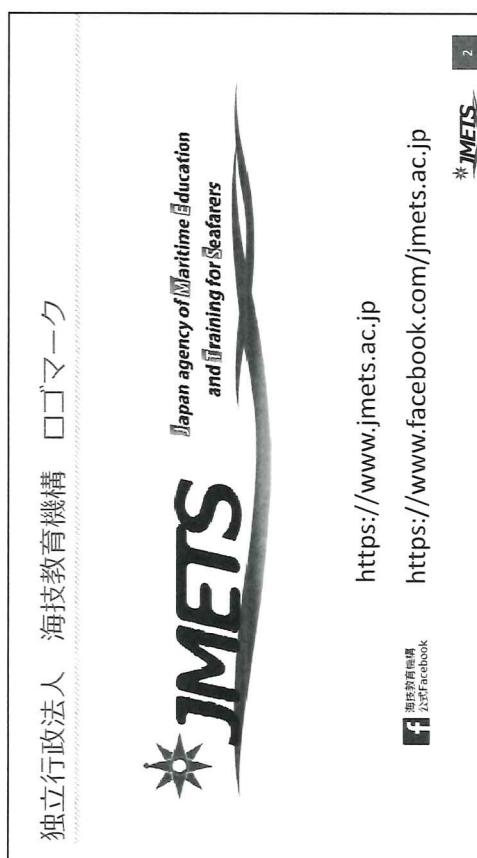
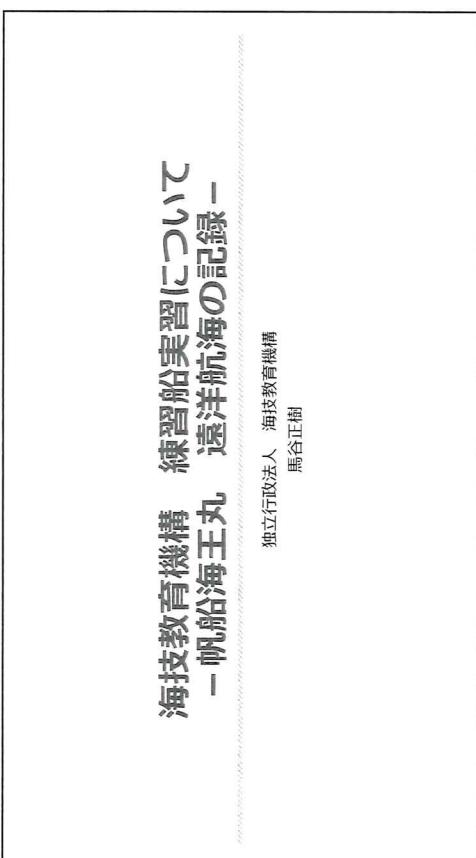
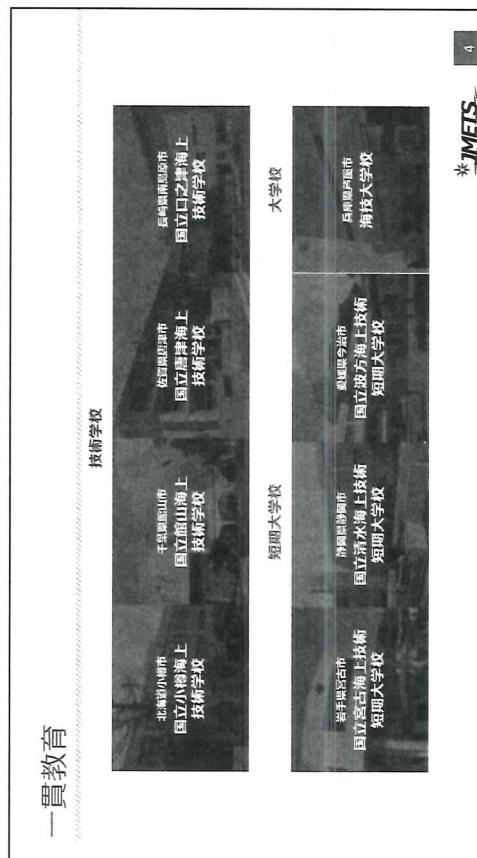
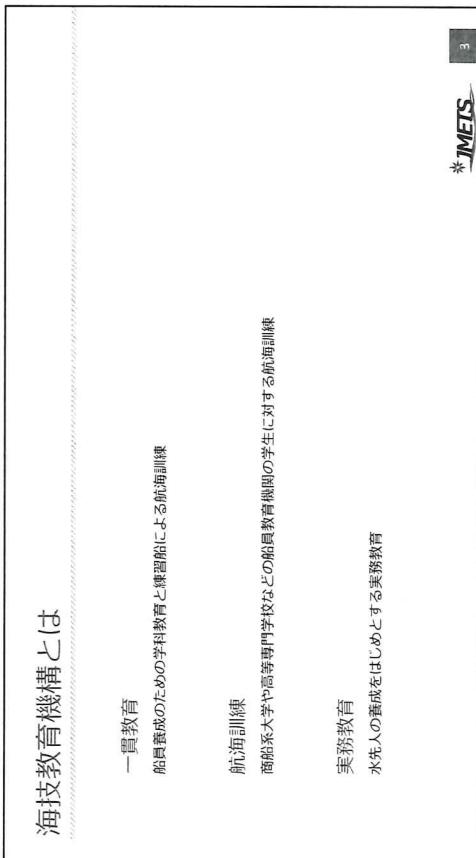
と題し、講演が行われた。

『第55回月例会講演資料』

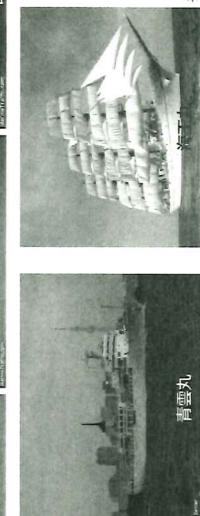
「海技教育機構 練習船乗船実習について」

～帆船 海王丸遠洋航海記録～

講師 独立行政法人 海技教育機構
神戸分室長 馬 谷 正 樹 氏



練習船



*IMETS 5

海上技術学校

技術学校の特色 1

3年間の課程であり、高等学校卒業同等資格が得られ、大学等への進学が可能です。

技術学校の特色 2

四級海技士レベルの専門科目の授業と、国語・社会・数学・理科・英語など一般高校と同様の普通科目授業があります。

技術学校の特色 3

校内練習船や実習装置を使った実習実習の科目が組み込まれており、在学中に大型練習船による乗船実習（全国各地寄港）があります。

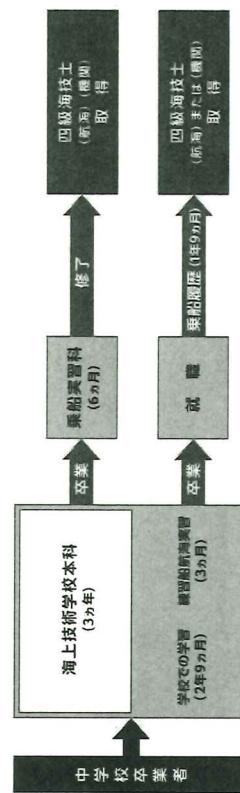
*IMETS 7

実務教育



*IMETS 6

海技免許取得への道



*IMETS 8

海上技術短期学校

短期大学校の特色 1
高等学陡卒業者を対象として、2年間という最短コースで、一般商船の「航海士」「機関士」を養成します。

短期大学校の特色 2
航海系・機関系両方の座学授業及び海上実習や実技の他、大型練習船による乗組実習、船舶職員としての総合力を養うことができます。

短期大学校の特色 3
卒業時には、航海士、機関士になるために必要な四級海技士（航海）及び内燃機関四級海技士（機関）の筆記試験が免除されます。

*IMETS

海技大学校

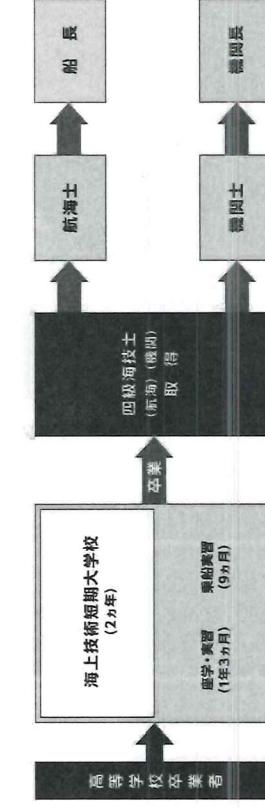
大学校の特色 1
「新人教育」「資格教育」「実務教育・訓練」そして「水先教育」まで多岐にわたりて教育・訓練を提供しています。

大学校の特色 2
通信教育制度を導入しており、自社で業務を行なながらの学習が可能です。

大学校の特色 3
シミュレータや実機を使用し、少人数で実践的な学習を行っています。また、卒業後は、海拔資格の筆記試験が免除されます。

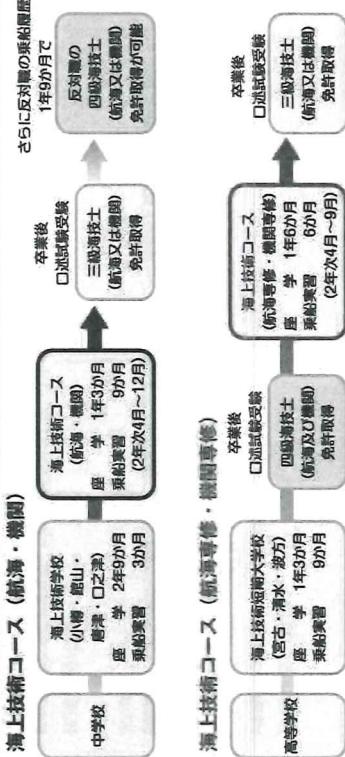
*IMETS

海技免許取得への道

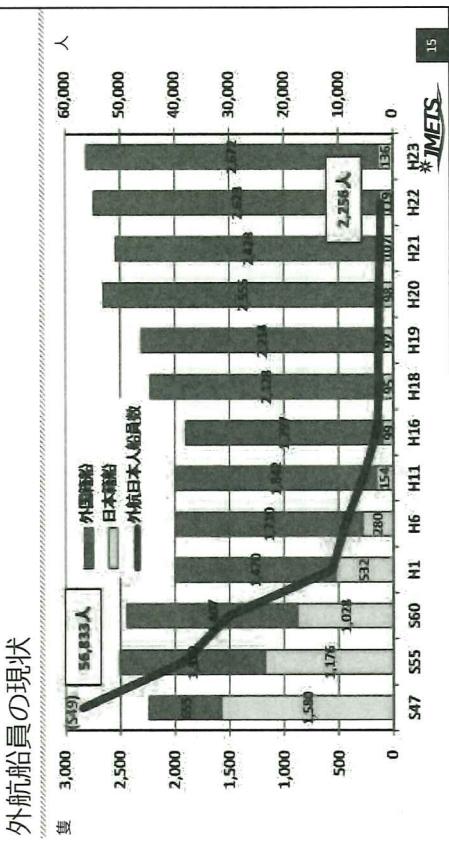


*IMETS

海技免許取得への道



*IMETS



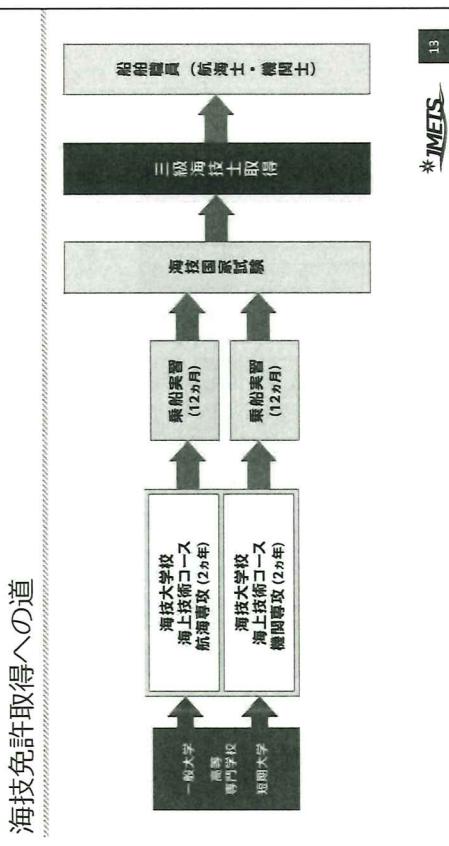
日本人船員の確保に向けた取り組み

安定的な海上輸送を確保するための外航日本人船員の必要規模
約5,500人 と試算

外航日本人船員（海技者）の数
今後10年間で 1.5倍に増加

*IMETS

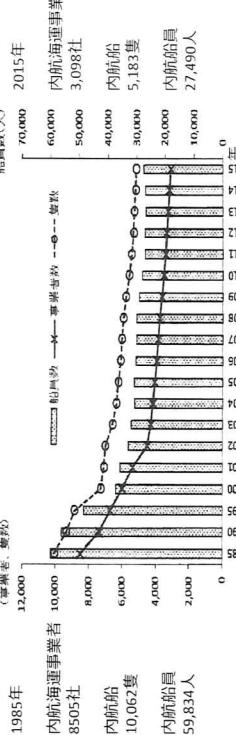
16



船員養成をめぐる現状

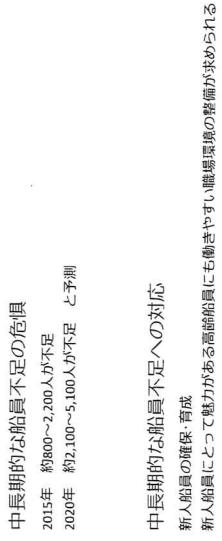
2012年「船員の確保・育成に関する検討会」から

内航事業者、内航船および内航船員の推移



*IMETS_ 17

内航船員の現状



*IMETS_ 19

内航船員の年齢構成割合

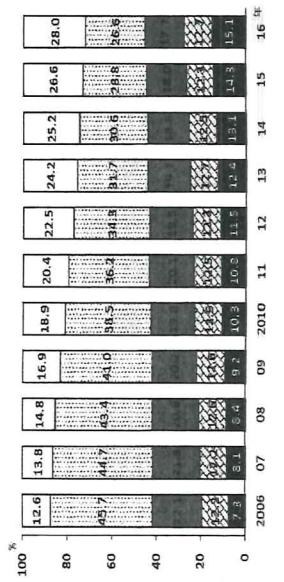
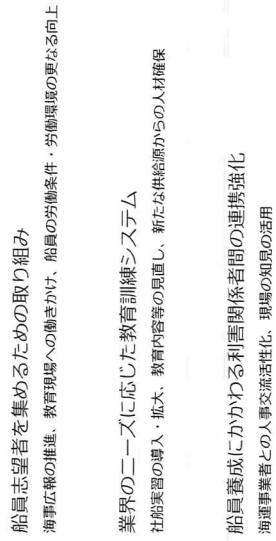


図2 内航船員の年齢構成割合
出所) 日本内航海運組合総連合会の資料をもとに筆者作成。

*IMETS_ 18

船員の確保・育成のための具体的の方策



*IMETS_ 20

外航海運事業者が新人船員に求める資質・技能等

船員の資質

船舶の機関及び操船に関する基礎的な知識・技能
船内業務及び船内生活への適応力・耐えうる精神力

海技者の資質

海運会社の将来（経営）を自分が担う気持ち
基本的なコミュニケーション能力
基礎的な英語力、探求心、情愞性、洞察力、陸上勤務・外地駐在への意欲

*IMETS 21

幅広い供給源から優秀な人材を模索（外航）

外航海運事業界

商船系大学、高等専門学校
運航技術の基礎知識、能力水準の維持の徹底、資質の向上を求めている

一部の外航海運事業者

船員教育機関のみならず、一般大学卒業者も採用対象に入れて優秀な人材を幅広く候補

*IMETS 23

内航海運事業者が新人船員に求める能力・資質

内航船を単独で安全に運航する知識・能力

海上技術科及び海上技術短期大学校が併合全体の約5割
水産系高等学段はそれに次ぐ約3割
平成19年度に創設された新6級制度による養成を行う海技大学校や民間教育機関も合計で約1割
外航船船員（三級海技士）を輩出している大学（商船系、水産系、私立）
カーフェリー、RO-RO船等へ内航新人船員を供給
その数は併合全体の1割程度

*IMETS 22

新人船員の供給の多様化（内航）

内航船船員（四級海技士）を養成目的とする

海上技術科及び海上技術短期大学校が併合全体の約5割
水産系高等学段はそれに次ぐ約3割
平成19年度に創設された新6級制度による養成を行う海技大学校や民間教育機関も合計で約1割
外航船船員（三級海技士）を輩出している大学（商船系、水産系、私立）
カーフェリー、RO-RO船等へ内航新人船員を供給
その数は併合全体の1割程度

*IMETS 24

帆船海王丸 平成29年度遠洋航海

25

帆船海王丸 平成29年度遠洋航海 奇港地



カナダ リッチモンド市 スティーブストン港

2017年5月3日 (水) 1000~5月8日 (月) 1415

アメリカ ハワイ州 ホノルル港

2017年5月19日 (金) 0930~5月23日 (火) 1010

*IMETS_ 27

帆船海王丸 平成29年度遠洋航海



航海系

東京海洋大学 航海科 25名 神戸大学 航海科 17名
海技大学校 航海科 9名 海技大学校 航海専修 6名 海技大学校 航海専修 14名

機関系
東京海洋大学 機関科 12名 神戸大学 機関科 9名 高等専門学校 機関科 1名
海技大学校 機関科 7名 海技大学校 機関専修 6名

研修生等
海洋研修生 8名 指導員 2名
東京～リッチモンド
乗船

*IMETS_ 26

実習生及び研修生等（116名）

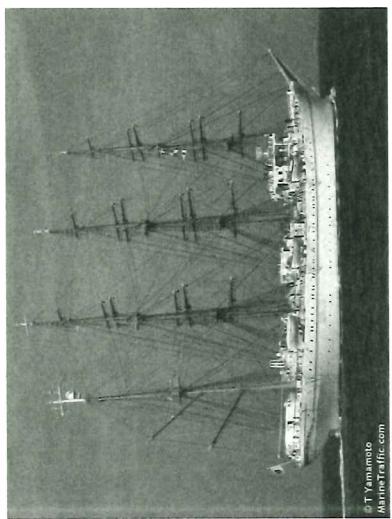
東京海洋大学 航海科 25名 神戸大学 航海科 17名
海技大学校 航海科 9名 海技大学校 航海専修 6名 海技大学校 航海専修 14名

機関系
東京海洋大学 機関科 12名 神戸大学 機関科 9名 高等専門学校 機関科 1名
海技大学校 機関科 7名 海技大学校 機関専修 6名

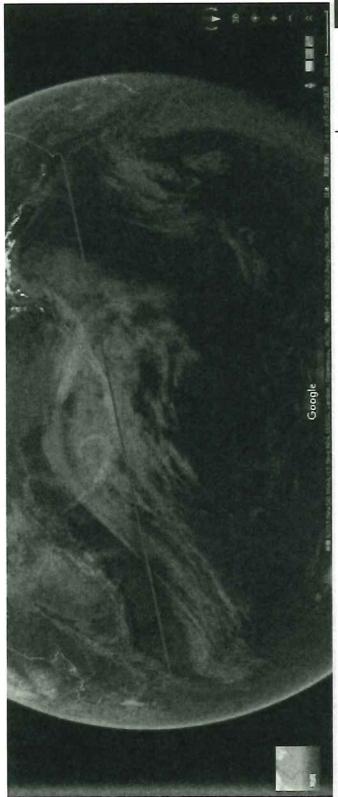
研修生等
海洋研修生 8名 指導員 2名
東京～リッチモンド
乗船

*IMETS_ 28

海王丸 実習風景

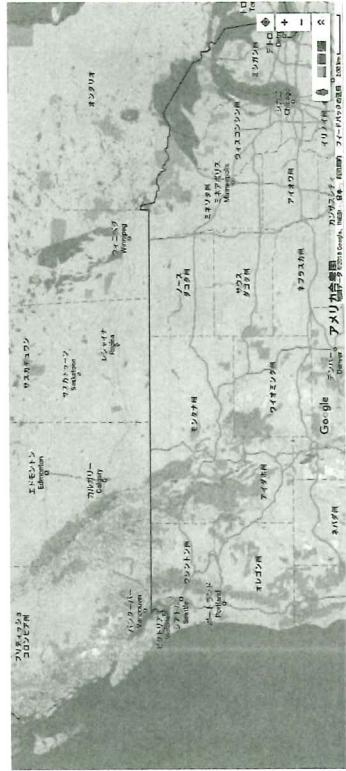


東京からファンデフカ最短航路



*IMETS 29

パンクーバー



*IMETS 30

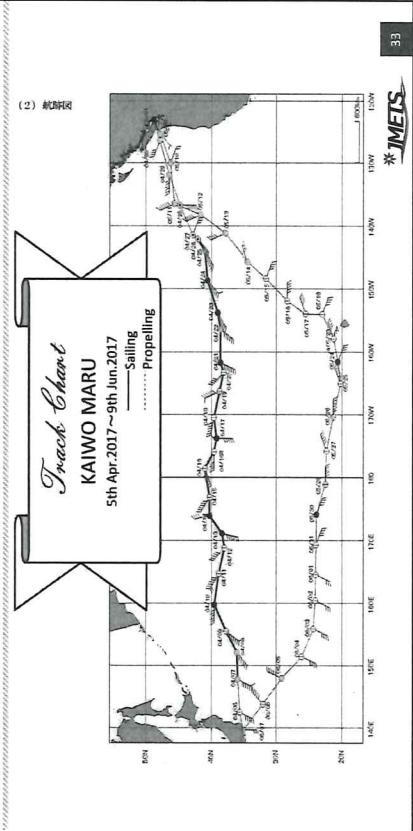
東京からファンデフカ直航航路



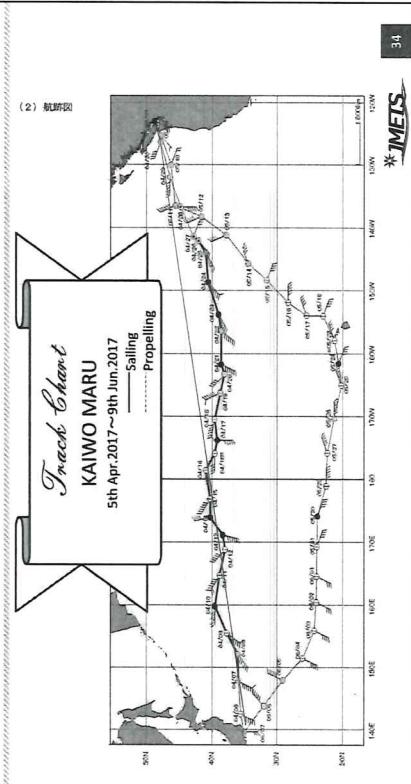
465mile
465mile / 7ノット = 2.8日

*IMETS

帆船海王丸 平成29年度遠洋航海



帆船海王丸 平成29年度遠洋航海



航海摘要

港名	航路時間 (d-h-m)	航速時間 (d-h-m)	航程 (mi)e (n mile)	航走 (kn)	帆走 (kn)	平均速力 (kn)
東京	01-12-45	20-14-03	06-08-30	3656	1544	7.40
ヨットモンド	26-23-00	—	5200	—	—	10.12
水ノルル	10-22-15	—	10-22-03	—	2536	—
東京	01-14-50	—	14-12-03	—	3776	—
東京	14-12-15	—	—	—	—	10.85

*METS

35

日本式風力記号

風力記号について

記号	風速(m/s)
0	0.0~0.3m/s
1 O \	0.3~1.6m/s
2 O \ \	1.6~3.4m/s
3 O \ \ \	3.4~5.5m/s
4 O \ \ \ \	5.5~8.0m/s
5 O \ \ \ \ \	8.0~10.8m/s
6 O \ \ \ \ \ \	10.8~13.9m/s
7 O \ \ \ \ \ \ \	13.9~17.2m/s
8 O \ \ \ \ \ \ \ \	17.2~20.8m/s
9 O \ \ \ \ \ \ \ \ \	20.8~24.5m/s
10 O \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	24.5~28.5m/s
11 O \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	28.5~32.7m/s
12 O \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	32.7以上

*METS

36

日本式風力記号と国際式風力記号の対応

国際式 (FRT)	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65
日本式風力記号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
無風	○	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	
弱風	○	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	
中風	○	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	
強風	○	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	
暴風	○	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	△	▽	×	

第1図 風速、気象庁風力階級、風力記号、"風速階級"、国際式風速記号の対応。

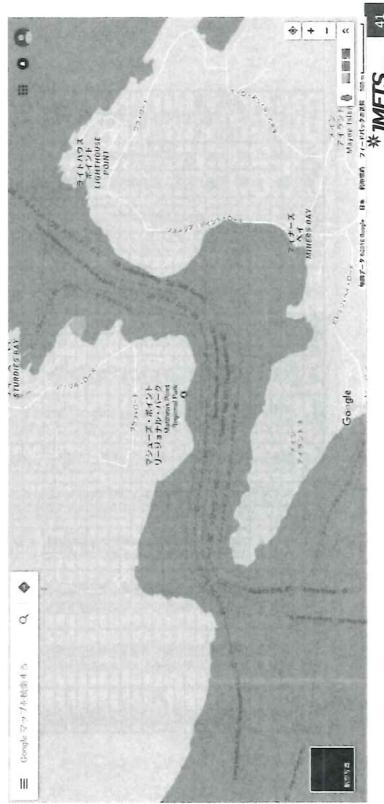
*METS

37

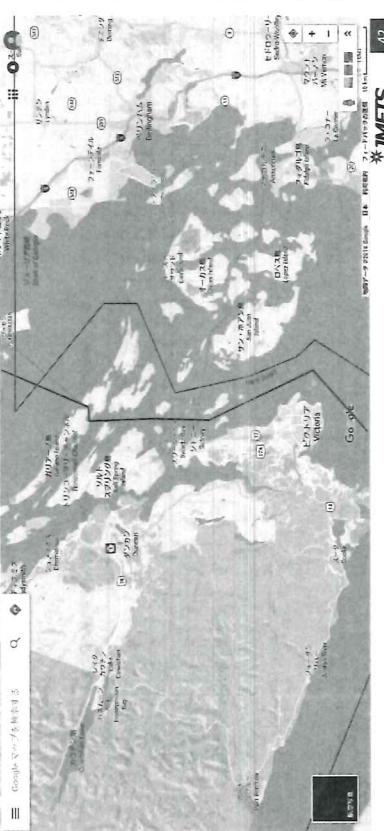
航海一覧 (東京へリッチモンド) (S)

日付	出港地	目的地	航路	風向	風速	波高	天候	潮位	潮汐	航路状況	備考
Std. Amer 1	NY/NY	Tokyo	S-E	N	h	m	atc	h	m	smooth	
10/25	10-11	10-11	P-11-10	P-12-11	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
10/26	11-12	11-12	P-12-13	P-13-12	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
10/27	12-13	12-13	P-13-14	P-14-13	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
10/28	13-14	13-14	P-14-15	P-15-14	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
10/29	14-15	14-15	P-15-16	P-16-15	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
10/30	15-16	15-16	P-16-17	P-17-16	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
10/31	16-17	16-17	P-17-18	P-18-17	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/1	17-18	17-18	P-18-19	P-19-18	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/2	18-19	18-19	P-19-20	P-20-19	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/3	19-20	19-20	P-20-21	P-21-20	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/4	20-21	20-21	P-21-22	P-22-21	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/5	21-22	21-22	P-22-23	P-23-22	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/6	22-23	22-23	P-23-24	P-24-23	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/7	23-24	23-24	P-24-25	P-25-24	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/8	24-25	24-25	P-25-26	P-26-25	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/9	25-26	25-26	P-26-27	P-27-26	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/10	26-27	26-27	P-27-28	P-28-27	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/11	27-28	27-28	P-28-29	P-29-28	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/12	28-29	28-29	P-29-30	P-30-29	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/13	29-30	29-30	P-30-31	P-31-30	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/14	30-31	30-31	P-31-32	P-32-31	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/15	31-32	31-32	P-32-33	P-33-32	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/16	32-33	32-33	P-33-34	P-34-33	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/17	33-34	33-34	P-34-35	P-35-34	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/18	34-35	34-35	P-35-36	P-36-35	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/19	35-36	35-36	P-36-37	P-37-36	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/20	36-37	36-37	P-37-38	P-38-37	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/21	37-38	37-38	P-38-39	P-39-38	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/22	38-39	38-39	P-39-40	P-40-39	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/23	39-40	39-40	P-40-41	P-41-40	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/24	40-41	40-41	P-41-42	P-42-41	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/25	41-42	41-42	P-42-43	P-43-42	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/26	42-43	42-43	P-43-44	P-44-43	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/27	43-44	43-44	P-44-45	P-45-44	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/28	44-45	44-45	P-45-46	P-46-45	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/29	45-46	45-46	P-46-47	P-47-46	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
11/30	46-47	46-47	P-47-48	P-48-47	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/1	47-48	47-48	P-48-49	P-49-48	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/2	48-49	48-49	P-49-50	P-50-49	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/3	49-50	49-50	P-50-51	P-51-50	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/4	50-51	50-51	P-51-52	P-52-51	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/5	51-52	51-52	P-52-53	P-53-52	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/6	52-53	52-53	P-53-54	P-54-53	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/7	53-54	53-54	P-54-55	P-55-54	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/8	54-55	54-55	P-55-56	P-56-55	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/9	55-56	55-56	P-56-57	P-57-56	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/10	56-57	56-57	P-57-58	P-58-57	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/11	57-58	57-58	P-58-59	P-59-58	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/12	58-59	58-59	P-59-60	P-60-59	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/13	59-60	59-60	P-60-61	P-61-60	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/14	60-61	60-61	P-61-62	P-62-61	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/15	61-62	61-62	P-62-63	P-63-62	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/16	62-63	62-63	P-63-64	P-64-63	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/17	63-64	63-64	P-64-65	P-65-64	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/18	64-65	64-65	P-65-66	P-66-65	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/19	65-66	65-66	P-66-67	P-67-66	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/20	66-67	66-67	P-67-68	P-68-67	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/21	67-68	67-68	P-68-69	P-69-68	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/22	68-69	68-69	P-69-70	P-70-69	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/23	69-70	69-70	P-70-71	P-71-70	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/24	70-71	70-71	P-71-72	P-72-71	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/25	71-72	71-72	P-72-73	P-73-72	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/26	72-73	72-73	P-73-74	P-74-73	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/27	73-74	73-74	P-74-75	P-75-74	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/28	74-75	74-75	P-75-76	P-76-75	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/29	75-76	75-76	P-76-77	P-77-76	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/30	76-77	76-77	P-77-78	P-78-77	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
12/31	77-78	77-78	P-78-79	P-79-78	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/1	78-79	78-79	P-79-80	P-80-79	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/2	79-80	79-80	P-80-81	P-81-80	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/3	80-81	80-81	P-81-82	P-82-81	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/4	81-82	81-82	P-82-83	P-83-82	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/5	82-83	82-83	P-83-84	P-84-83	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/6	83-84	83-84	P-84-85	P-85-84	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/7	84-85	84-85	P-85-86	P-86-85	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/8	85-86	85-86	P-86-87	P-87-86	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/9	86-87	86-87	P-87-88	P-88-87	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/10	87-88	87-88	P-88-89	P-89-88	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/11	88-89	88-89	P-89-90	P-90-89	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/12	89-90	89-90	P-90-91	P-91-90	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/13	90-91	90-91	P-91-92	P-92-91	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/14	91-92	91-92	P-92-93	P-93-92	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/15	92-93	92-93	P-93-94	P-94-93	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/16	93-94	93-94	P-94-95	P-95-94	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/17	94-95	94-95	P-95-96	P-96-95	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/18	95-96	95-96	P-96-97	P-97-96	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/19	96-97	96-97	P-97-98	P-98-97	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/20	97-98	97-98	P-98-99	P-99-98	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/21	98-99	98-99	P-99-100	P-100-99	0.25	0.64	light	10.6	9	light	
1/22	99-100	99									

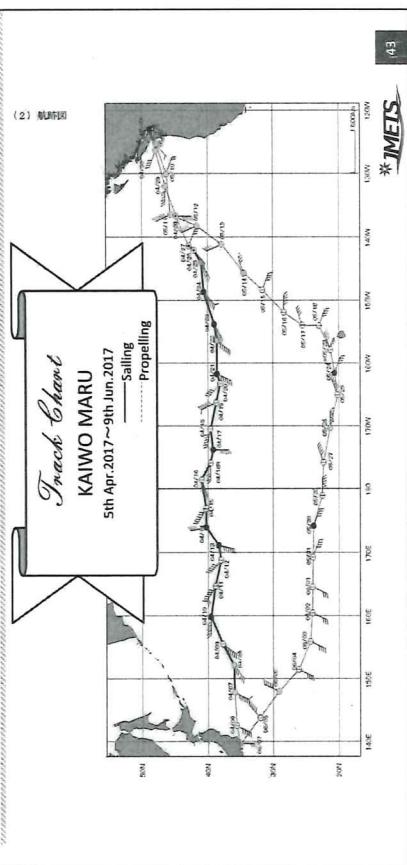
アクティバパス



アクティバパスからビクトリア



帆船海王丸 平成29年度遠洋航海



日本最東端の島



南鳥島
南鳥島は、小笠原諸島の島。本州から1,800 km離れた日本最東端の島。東京都小笠原村に属する。マーカス島、マーカス島、アカス島、一級市町指定住居はなく、飛行場を管理する海上自衛隊や気象庁、関東地方整備局の職員が交代で執務する。

骨島（そつふがん）
伊豆諸島最南端の島。別名 やもめいわ、とも言われる。水深2000mの海底から垂直にそり立ち、水面からの高さが99m、海底火山のマグマが硬化してきた玄武岩の岩頭（がんぱい）である。

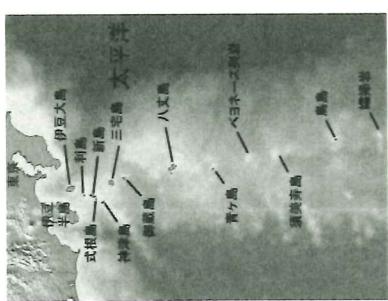
*METS

42

*METS

44

伊豆諸島



人が定住している島（有人島）の数は9。

伊豆大島のほか、利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島の8島がそれである。

かつては御蔵島や八丈小島・鳥島にも定住者がいたが、今は無人島になっている。

また、ベヨネース列岩・須美新島・帰郷岩などは有史以来の無人島である。

第56回 月例会概要

- 1 日 時 平成30年5月25日(金) 15:00～15:55
- 2 場 所 神戸市立 こうべまちづくり会館 2階ホール
- 3 出席者 39名
- 4 概要

(1) 事業経過報告等

伊藤専務理事から事業報告及び会務報告が行われた。

(2) 講演

川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー 神戸造船工場

船渠長 八木 武人氏により

「操船事故例とヒヤリハット」

と題し、講演が行われた。

《第56回月例会講演資料》

「操船事故例とヒヤリハット」

講師 川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー
神戸造船工場 船渠長 八木武人氏

操船の事故例とヒヤリハット

「操船事故例とヒヤリハット」

川崎重工業株式会社
船舶海洋カンパニー
船渠長 八木武人

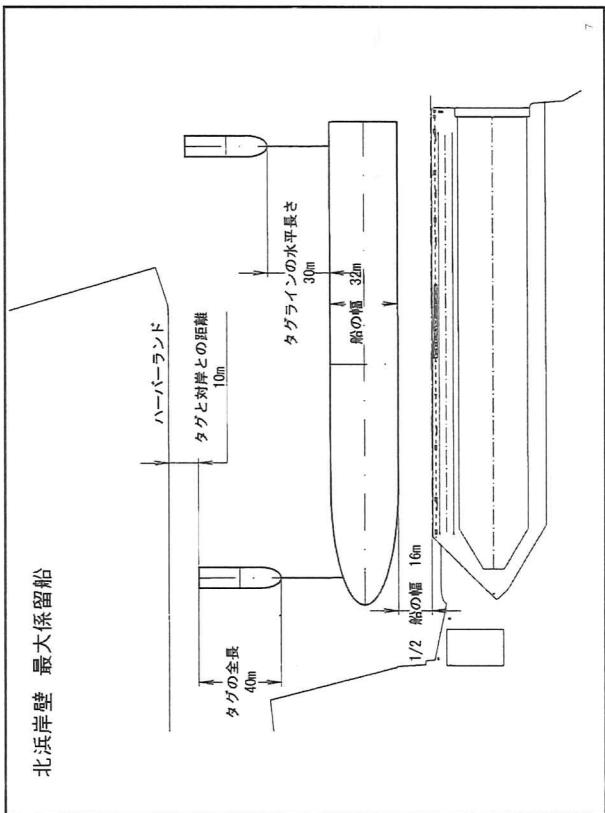
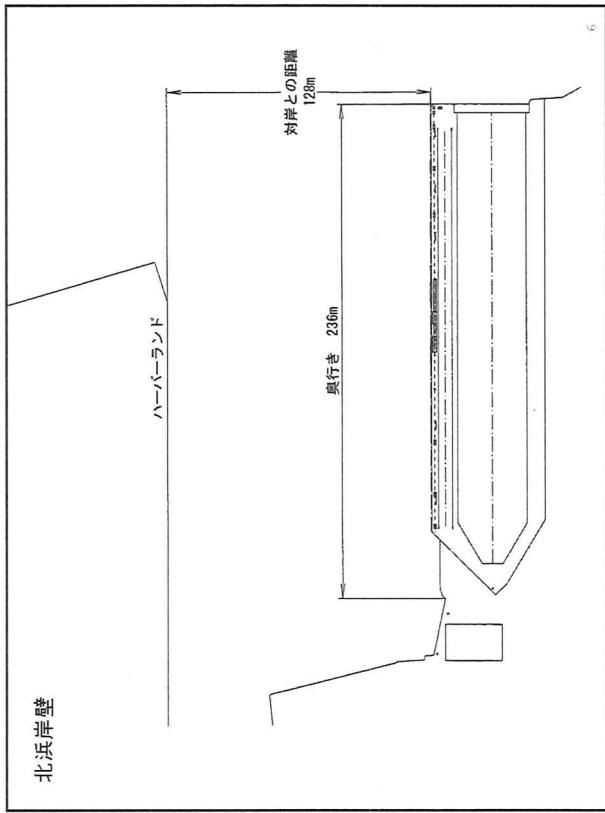
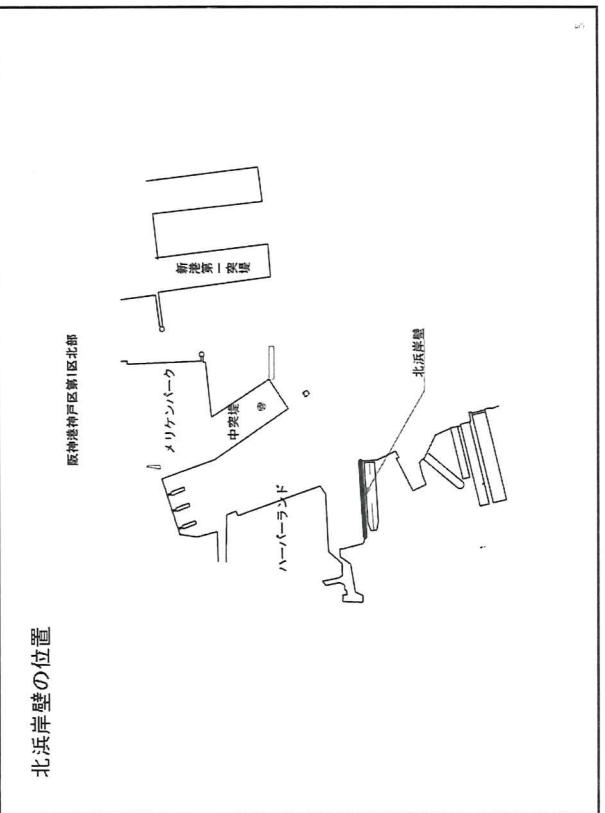
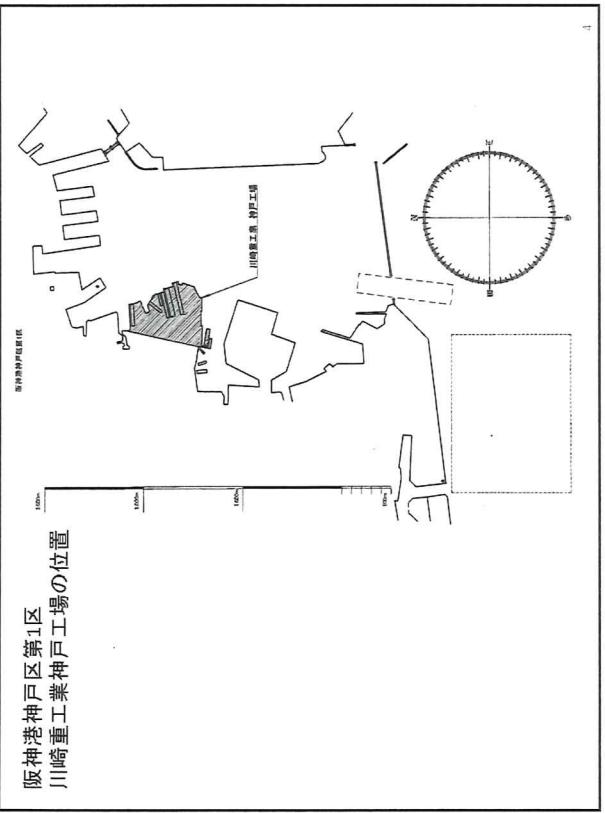
講師 川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー
神戸造船工場
船渠長 八木 武人 氏

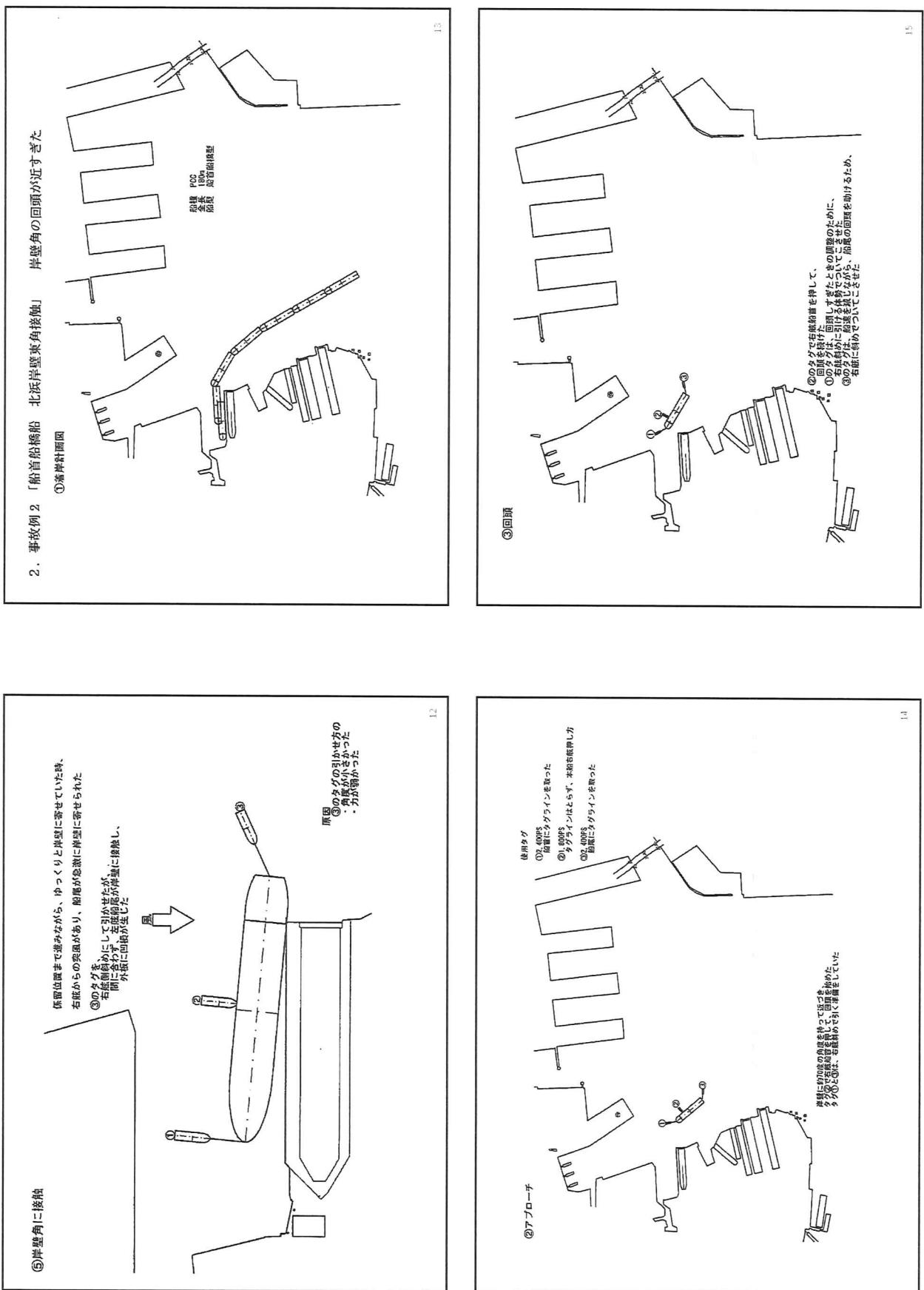
略歴

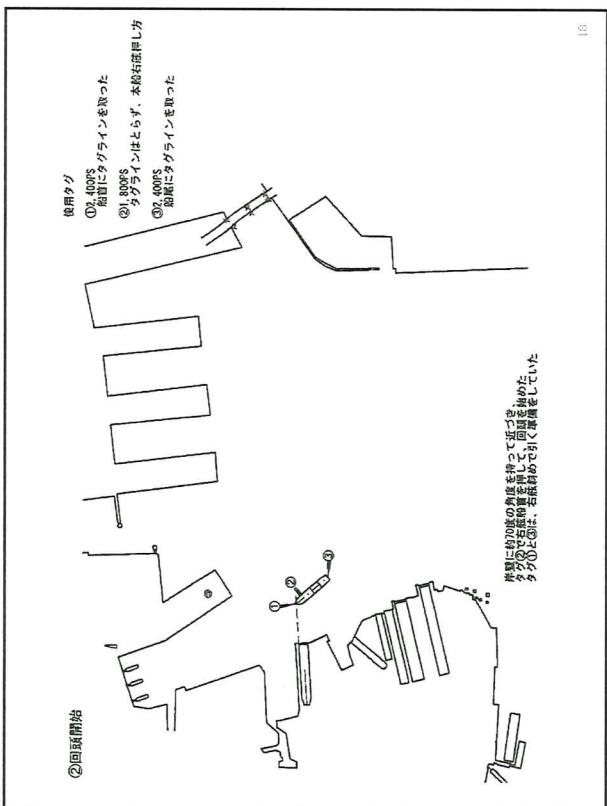
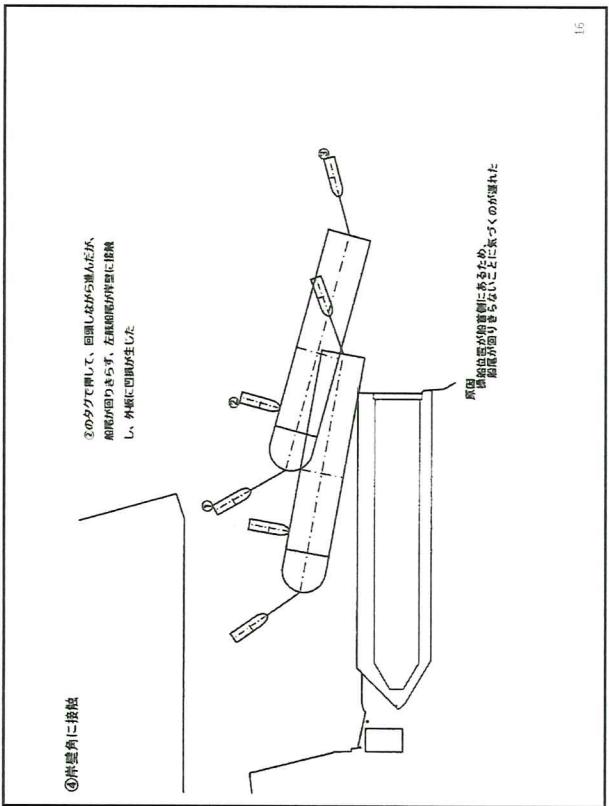
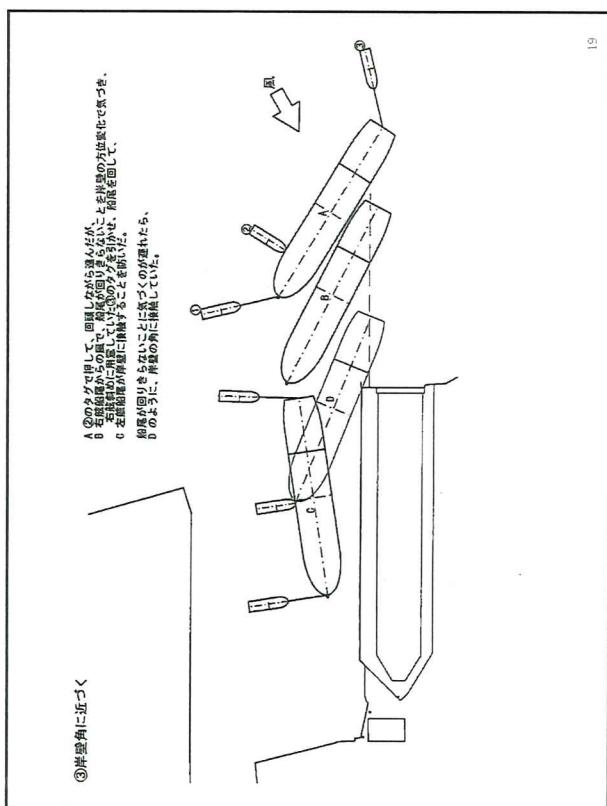
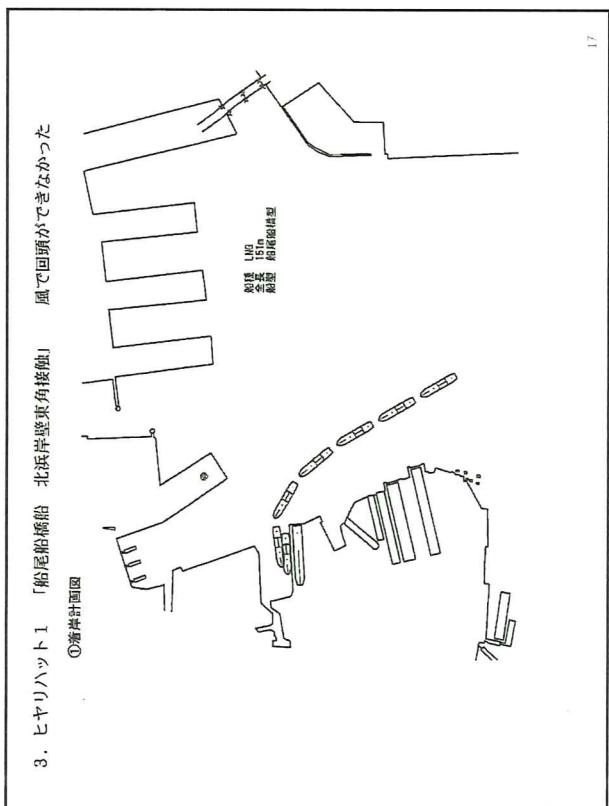
- ・1953年10月 神戸市に生まれる
- ・1974年 9月 鳥羽商船高等専門学校
航海科卒業
- ・1974年10月 日本汽船株式会社
三等航海士として入社
- ・1976年 9月 一等航海士まで務める
- ・1992年 6月 川崎重工業株式会社
操船担当として入社
- ・2011年10月 より現職

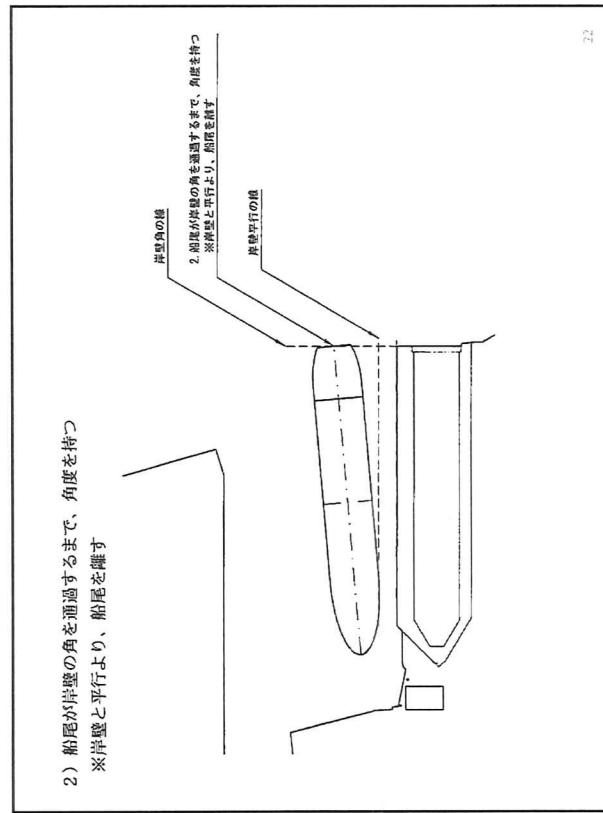
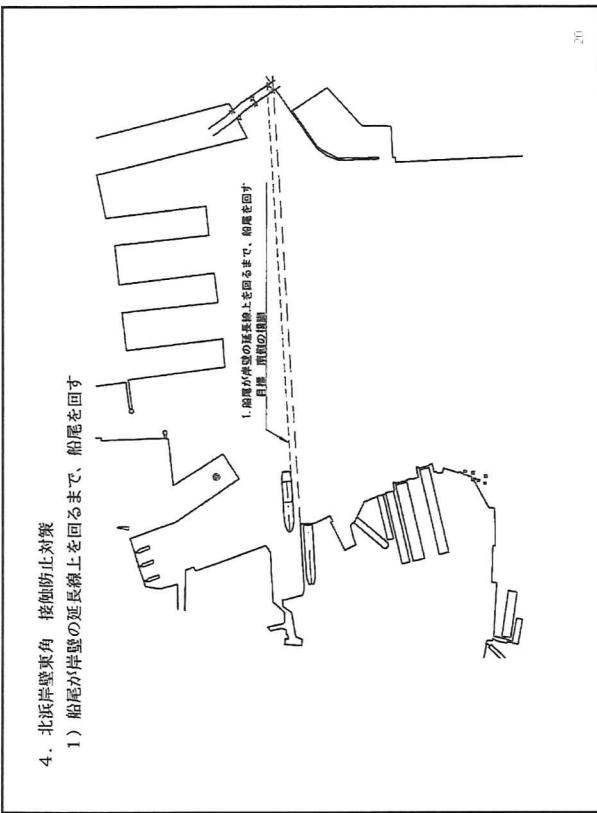
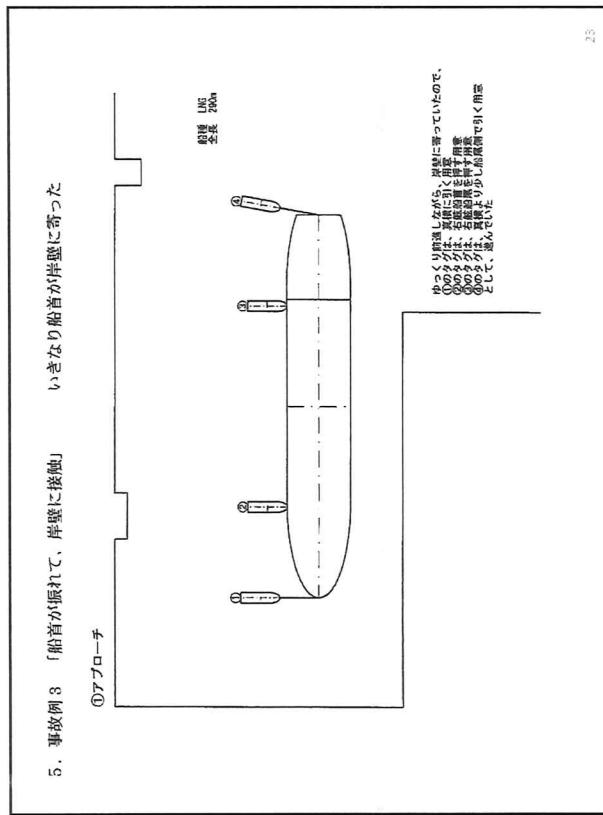
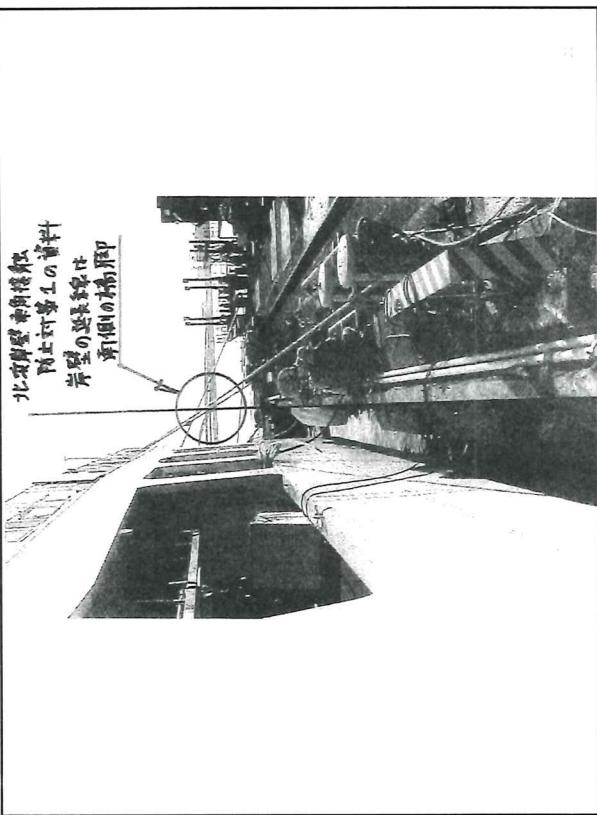
本日の内容

- 1 川崎重工業 神戸工場 北浜岸壁
- 2 事故例1 突風で岸壁に寄せられた(北浜)
- 3 事故例2 船首船橋のため船尾が回りきれなかった(北浜)
- 4 ヒヤリハット1 風で回頭できなかつた(北浜)
- 5 北浜岸壁 着岸時の安全対策
- 6 事故例3 船首が振れて、岸壁に接触(E)
- 7 事故例4 船尾が振れて、岸壁に接触(C1)
- 8 事故例5 タグに対するオーダーミスで、岸壁に接触(C2)
- 9 船首または船尾が岸壁に近づき始めた時の安全対策
- 10 ヒヤリハット2 出渠(3ドック)
- 11 ヒヤリハット3 入渠(4ドック)
- 12 ヒヤリハット4 いつもの癖が出てしまつた(南浜)
- 13 事故 ヒヤリハットを起こさないために



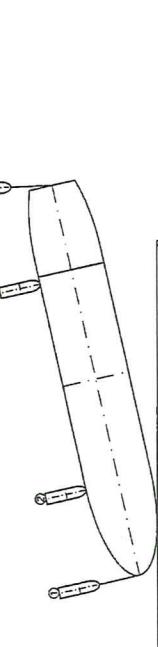






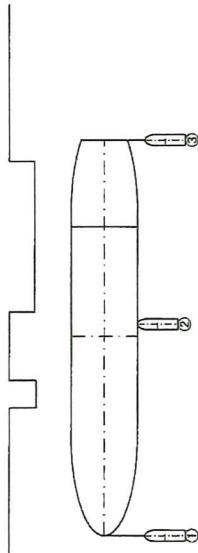
事故例 4 「船尾が振れて、岸壁に接触」 着岸のバランスが崩れた

①着岸前
船型 LNG
全長 200m



原因 不明は振動が起きた。岸壁が近くで、タグホールが作る水流の影響があったと、想像する
結果Stern Strikeで、タグホールが作用する水流の影響があったと、想像する

24

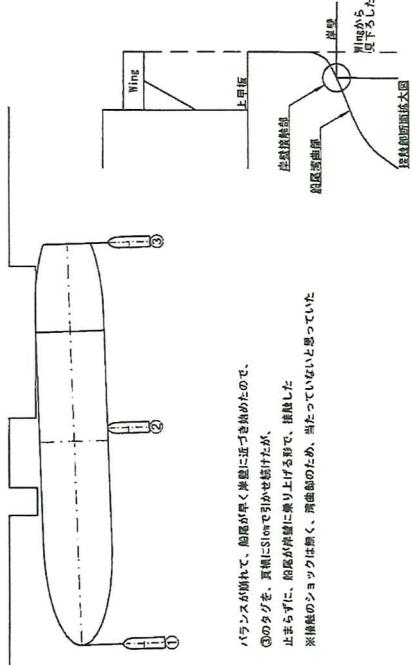


発生に、船首が岸壁に寄り付めた。
①のタグホール、直接に Dual Stone Strike, Jet! と
衝突する上ながらも、間に合わせ
わざか前に前の波を引いたまま、左舷船首が岸壁に当たった。

25

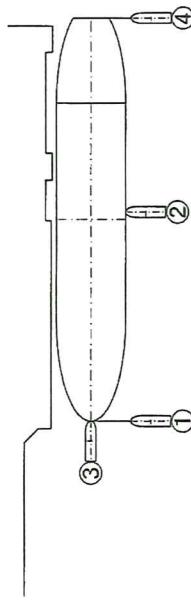
事故例 5 「タグに対するオーダーミスで、右舷外板が岸壁に接触」 タグへのオーダーが、理解されていなかった

①着岸前
船型 LNG
全長 300m



バランスが崩れて、船尾が早く岸壁に近づき始めたので、
③のタグを、真横に引いて引いたが、
止まらずに、船尾が外側に乗り上げる形で、接触した。
※船のショックは無く、荷物のため、当たっていないと思っていた

25



②のタグでゆっくりと岸壁を行った。
①と②のタグは、岸壁と平行を行なったが、距離が離れていたため、距離に引ける余地をしていた。
岸壁から最も近くで平行にならなかったが、体部速度が20kmだった
中で頭部速度が25kmだったので、船首をまっすぐ押して20km下げようとした

27

②接触

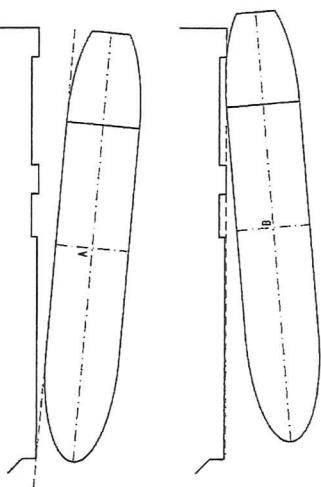
②接触

「ルルバスで、」「ルルバスで用事だ」との意味を含みながら、いま羊糞盆に移動し、「一枝松」は「オーダー」で、「一枝松」を手前から「ルルバス」を耳に運ぶために「一枝松」を船尾側にまわす。このルルバスが、船上に置かれた、船頭の腰袋に係られたが、

原田：○のタグが、オーダーの意味で使われていてなかつた。○のタグは、オーダーには、専門的な上に止まらない。○のタグは、洋服の品質では、品質が良い、この品質で購入が止まるよう見えた。○の洋服の品質では、洋服が止まるまでの品質が無かつた。

岸壁に、船首または船尾が近づき始めたときの対策

- 「これ以上書くと長い」特集を持つ
- とくにかく止める限りでひきかせて電子を見てはいけない
自金を250万円のところから100万円まで減らす
※財産を多く持つごとに、腰痛がかかる傾向がある
腰痛は腰筋の筋肉が、腰筋をつかう筋肉も引かせる



28

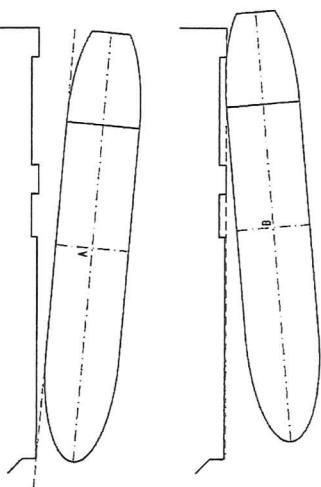
①出渠開始

- ①のタグを渠口の左舷で押す用意
- ②のタグを渠口の右舷で押す用意
- ③のタグを船尾にとつて、出渠を始めた風は、左舷真横から吹いていた

30

岸壁に、船首または船尾が近づき始めたときの対策

- 「これ以上書くと長い」特集を持つ
- とくにかく止める限りでひきかせて電子を見てはいけない
自金を250万円のところから100万円まで減らす
※財産を多く持つごとに、腰痛がかかる傾向がある
腰痛は腰筋の筋肉が、腰筋をつかう筋肉も引かせる



56

②有能編日に近づく

給水のタグで、右舷船尾部の外壁を右舷船尾部に移動して、右舷船頭部が原型に近づいた。このタグで右舷船尾部を押したため、船首が右に傾き、船首部の航行の行き方修正してしまった。

400

卷之三

③のタグは、「[バス停]」と「[バス停用語]」の形態を分からぬまま沿盲に移動し、
「一駅バス停」と「[バス停]」など二つとも「[バス停]」と見なすのがあり、
「[バス停]」から「[バス停]」へバス停を示したのに、
沿盲が右舷にて示された。

船の運航係員が、運航係員がつきのタグを[bus]で引かせ抜けたが、
※タグへの「[バス停]」は、船へ下りるために、[バス停]を船頭側につけて印す
※[バス停]への「[バス停]」は、船へ下りるために、[バス停]を船頭側につけて印す

原田：○のタグが、オーダーの意味で使われていてなかつた。○のタグは、オーダーには、専門的な上に止まつてゐた。○のタグは、オーダーをして、専門的な上に止まつてゐた。○のタグは、専門的な上に止まつてゐた。○のタグは、専門的な上に止まつてゐた。

船尾がいいなかつた」

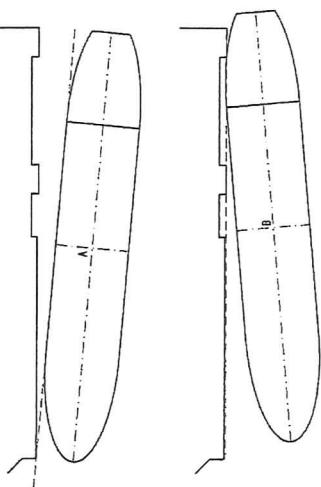
①出渠開始

①のタグを渠口の左舷で押す用意
②のタグを渠口の右舷で押す用意
③のタグを船尾にとつて、出渠を始めた風は、左舷真横から吹いていた

30

岸壁に、船首または船尾が近づき始めたときの対策

1. 「これ以上書くと長い」特徴を持つ
2. とにかく止める限りでひきかせて帽子を見はないがいい
自金を250万円のところに200万円で引いてしまう
※財産を多く持つ人が、腰痛をかからせると引かせる
正直、どこでどうでもいいが、腰痛をかからせると引かせる

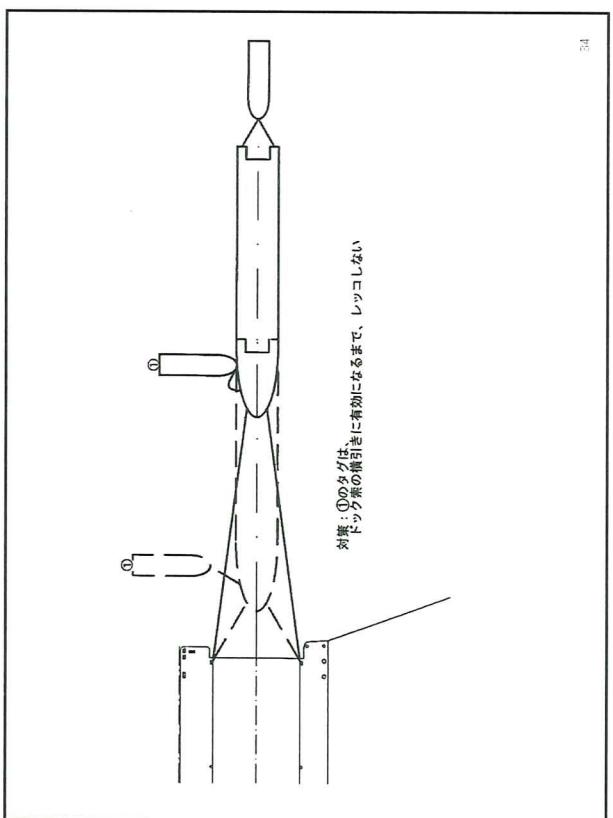
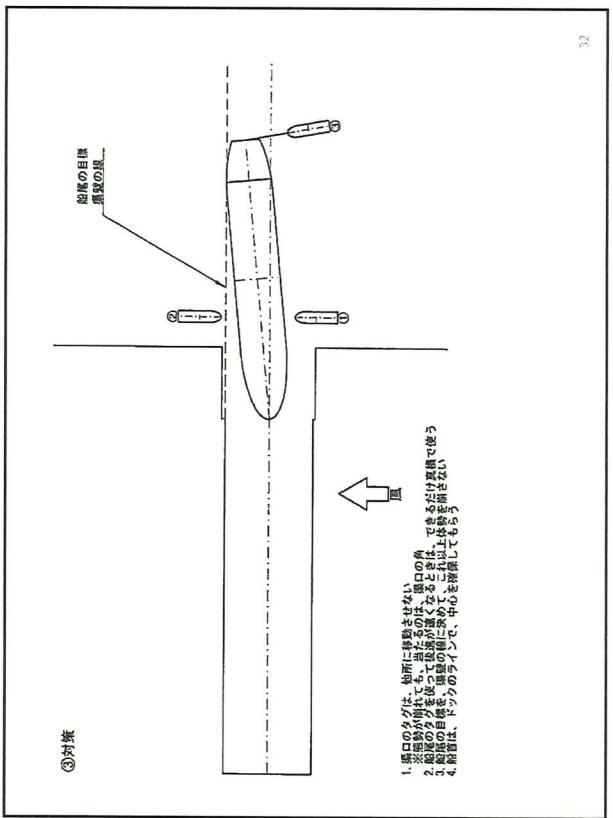
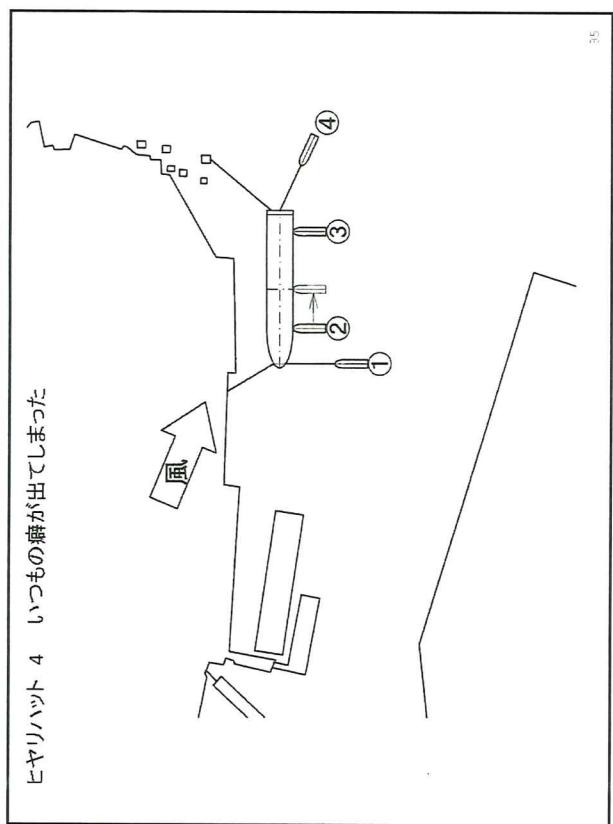
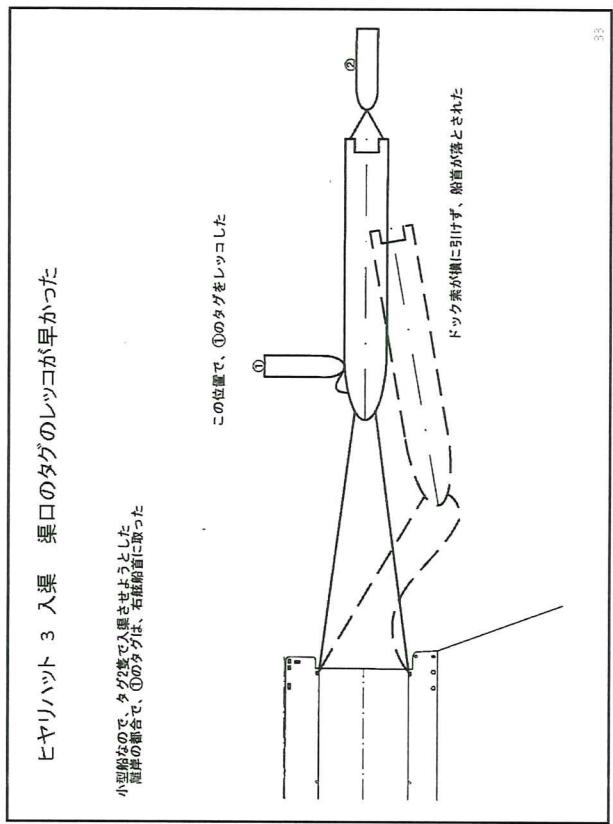


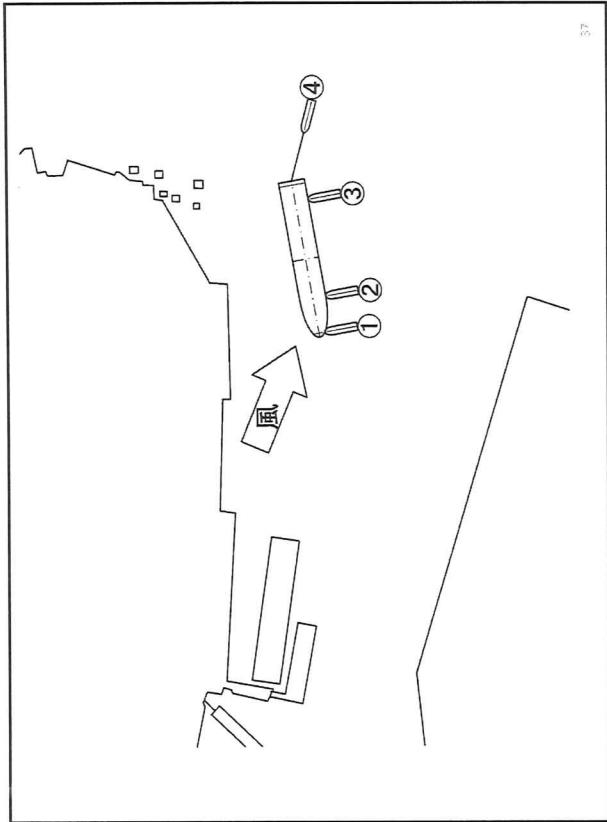
56

松原のタグ①では船底部のタグが左右どちらに移動するか、修正しようと試みたが、右舷船首直撃型に近づいたため、左舷船首直撃型に近づいた。右舷船頭部にタグがないかったため、片置きの位置の影響がでなかつた。

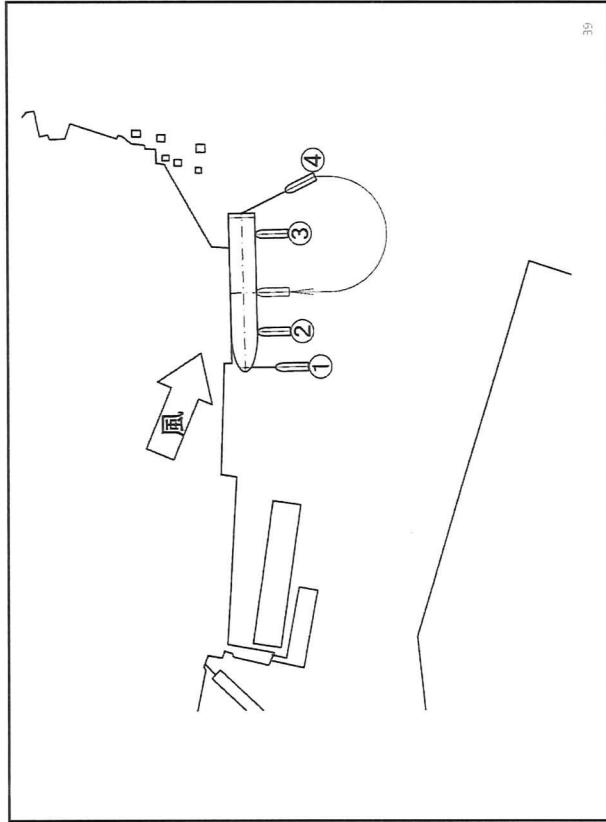
タグ②でもお隣船尾を押したため、船首が右に横転して、修正しようと試みたが、右舷船首直撃型に近づいたため、左舷船首直撃型に近づいた。

400

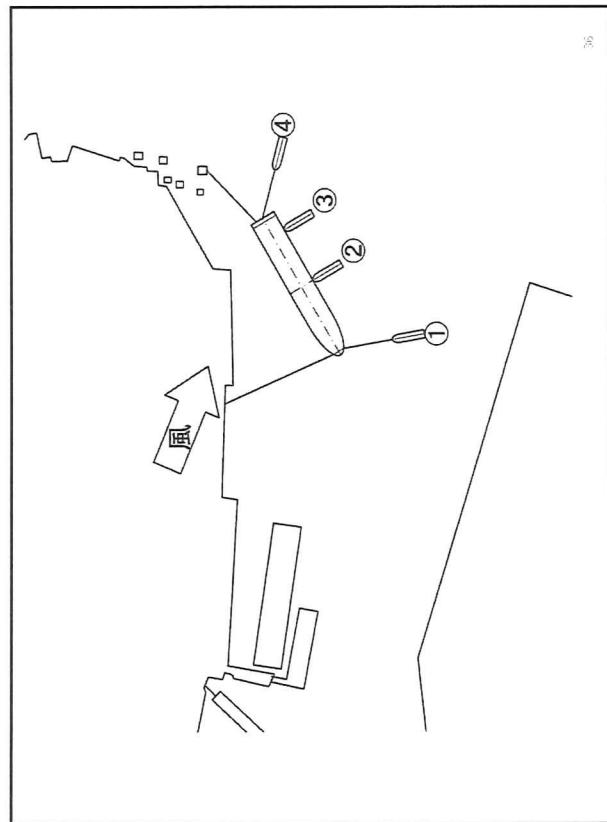




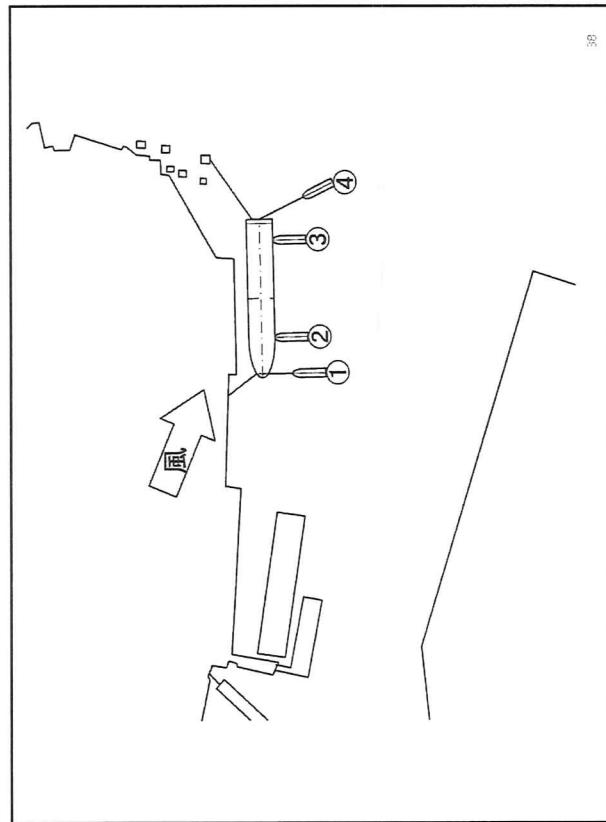
37



38



39



40

事故・ヒヤリハットを起こさないために

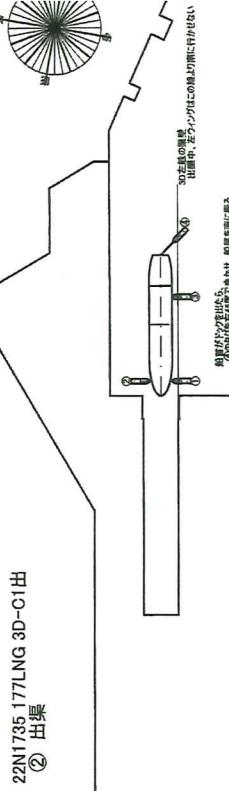
1 事前に操船計画を立てる

2 岸壁前でウロウロしない

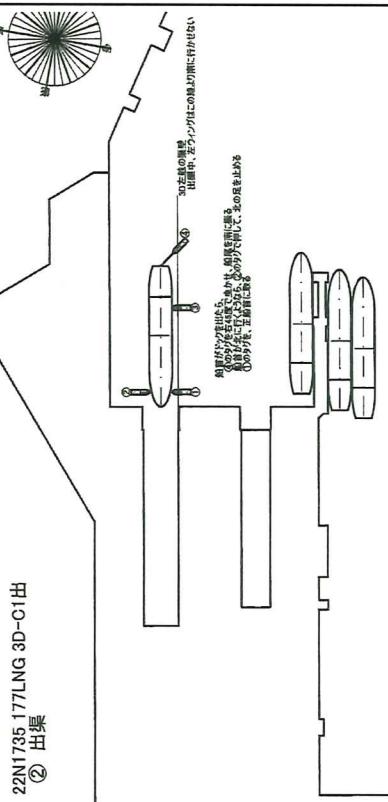
3 声と態度は大きく

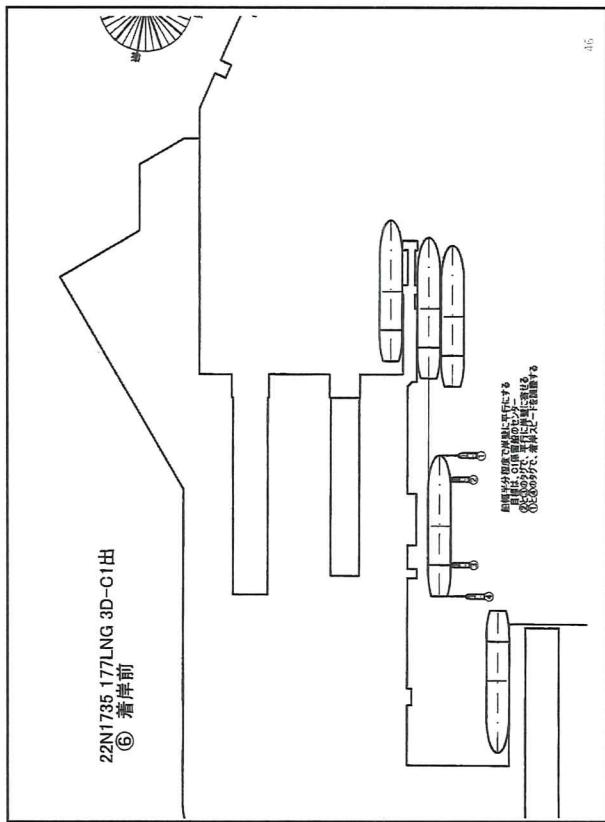
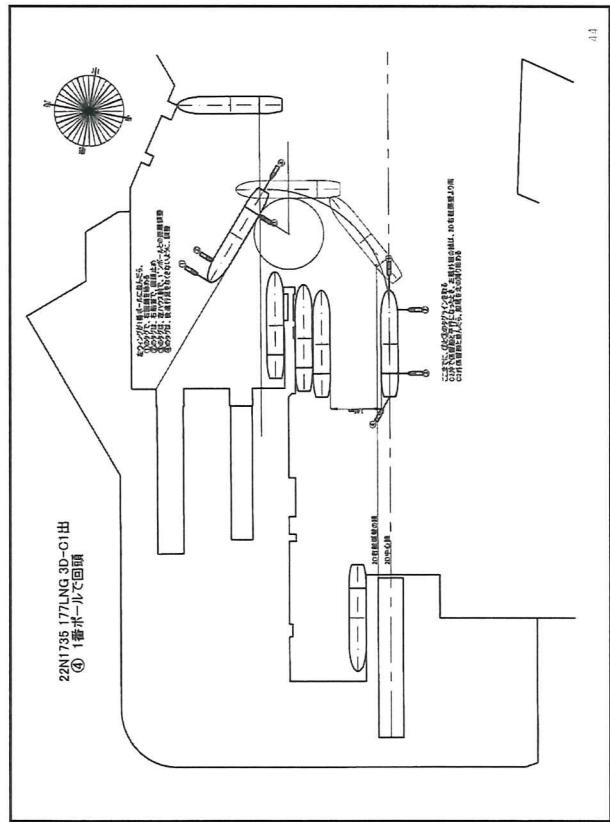
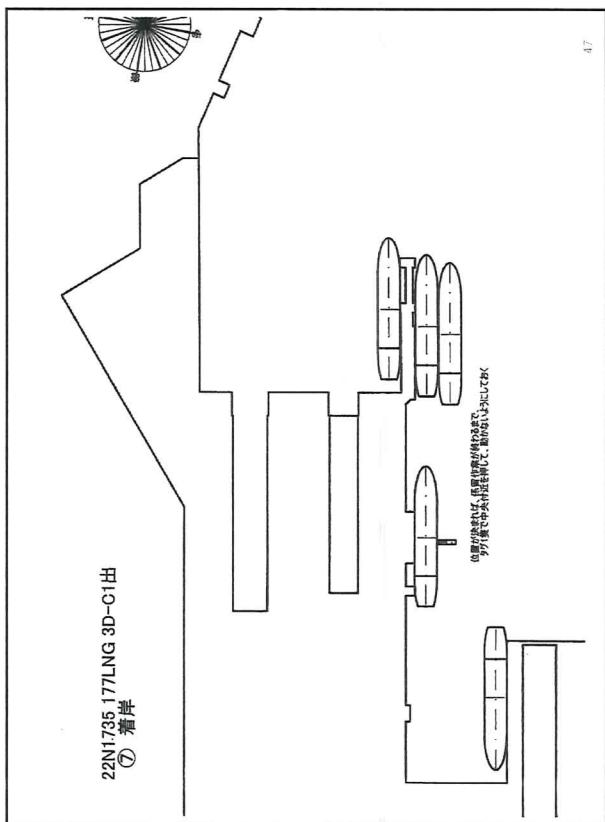
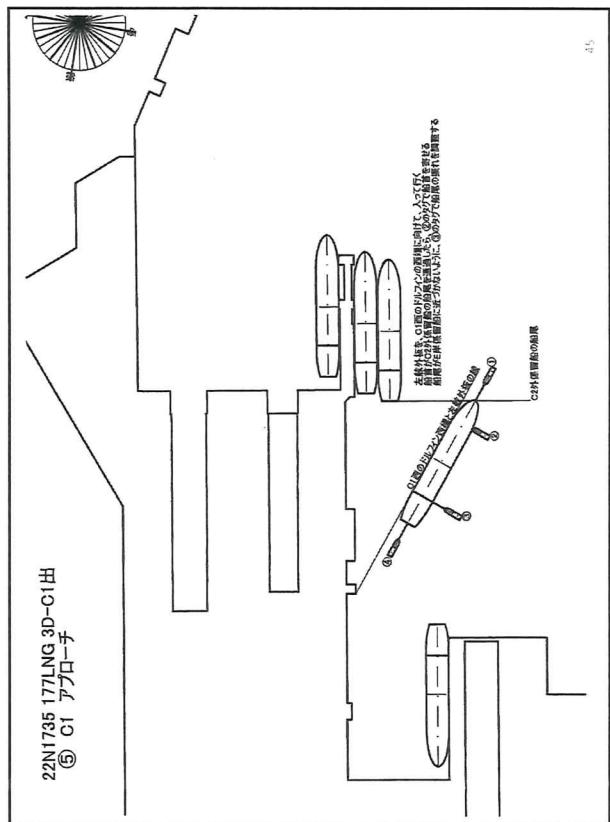
操船計画書 例
22N1735 177LNG 3D-01出
① 出渠前

A1



A2





事故・ヒヤリハットを起こさないために

- 1 事前に操船計画を立てる
- 2 岸壁前でウロウロしない、
- 3 声と態度は大きく

退職までの、カウントダウンが始まります

今までの経験を生かし、最後まで、無事故・無災害の操船を行っていきます

本日は、
ありがとうございます

49

48

事 業 報 告

神戸港大型クルーズ客船受入れに係る航行安全対策検討調査 検討部会

1 日 時 平成30年4月24日(火)13:25~15:50

2 場 所 ラッセホール 地下1階 サンフラワーの間

3 出 席 者 別紙のとおり

4 議 題

- (1) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果について
- (2) 係留時の安全性検討について
- (3) 入出港に伴う航行安全性の検討について
- (4) 航行安全対策（粗案）について

5 資 料（席上配布資料）

- (1) 検討資料部－1 ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果（案）
- (2) 検討資料部－2 係留時の安全性検討（案）
- (3) 検討資料部－3 入出港に伴う航行安全性の検討（案）
- (4) 検討資料部－4 航行安全対策（粗案）（案）

6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行い、以後、村井 康二 部会長により議事が進められた。

以 上

別 紙

出 席 者 名 簿

(順不同・敬称略) [REDACTED] は欠席者

※海防研常任委員

部 会 長	村 井 康 二	東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授 ※
委 員	古 莊 雅 生	神戸大学大学院海事科学研究科教授 ※
〃	片 岡 徹	大阪湾水先区水先人会会长 ※
〃	松 岡 耕太郎	(一社)日本船長協会技術顧問 ※
〃	松 浦 寛	日本郵船(株)関西支店支店長代理 ※
〃	宮 田 浩	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
〃	植 田 博	川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※
関係官公庁	伊 藤 卓 郎	第五管区海上保安本部交通部長 (代 田口 康文 企画調整官) (同席 澤埜 光弘 航行安全課海務第二係)
〃	吉 場 誠 也	神戸海上保安部長 (代 岩崎 成晃 次長) (同席 井口 智子 航行安全課長) (同席 仲田 幸生 航行安全課第一海務係長)
委 託 者	瀬 沢 孝 至	神戸市みなと総局みなと振興部振興課事業企画担当係長
〃	谷 幸 治	〃 技術部計画課計画第1係長
事 務 局	伊 藤 雅 之	(公社)神戸海難防止研究会専務理事
〃	宮 島 照 仁	〃 事業部調査主幹
〃	藤 原 昇	〃 部長補佐
〃	大 井 伸 一	(株)MOLマリン理事
〃	藤 原 千 尋	〃 関西事務所所長代理
〃	濱 田 辰 海	〃 研究員

平成30年度第1回船積危険品研究委員会

1 日 時 平成30年5月8日(火)13:30~14:50

2 場 所 商船三井ビル 4階 会議室

3 出 席 者 別紙のとおり

4 議 題

- (1) 船積危険品研究委員会事故事例No.7 大気放出ガスによる1名落水死亡事案の概要説明
- (2) 同事故事例No.7 のワークシートの検討について
- (3) 同事故事例No.7 のワンポイントアドバイスの検討について

5 資 料

- (1) 検討資料委1-1 事故事例No.7 大気放出ガスによる1名落水死亡事案のワークシート
- (2) 検討資料委1-2 同事故事例No.7 のワンポイントアドバイス (案)
- (3) 参考資料委1-1 プロピレンガス個品データ
- (4) 参考資料委1-2 事故事例No.7 の事案参考事項、写真、図

6 議 事

事務局より出欠状況、資料の確認を行った後、三村 治夫 委員長により議事が進められた。事故事例検討資料（事故事例No.7）の検討が行われ、ワンポイントアドバイスの内容の検討を行い了承された。了承された事故事例No.7のワンポイントアドバイスは委員長確認の後、ホームページに公開することとなった。

以 上

別 紙

出 席 者 名 簿

(順不同・敬称略) [REDACTED] は欠席者

※海防研常任委員

委 員 長	三 村 治 夫	神戸大学大学院海事科学研究科教授 ※
委 員	佐 藤 正 昭	神戸大学名誉教授 ※
"	三 輪 誠	神戸大学大学院海事科学研究科講師 ※
"	児 玉 正 浩	(一財)海上災害防止センター西日本支所 キソ一化学分析センター長 ※
"	松 浦 寛	日本郵船(株)関西支店支店長代理 ※
"	宮 田 浩	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
"	河 内 達 也	日本沖荷役安全協会神戸支部専務理事・事務局長 ※ (代 加藤 一也 安全管理部長)
"	益 田 晶 子	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 環境・動力系 環境分析研究グループ 上席研究員 ※
関係官公庁	岡 阪 健太郎	神戸運輸監理部海上安全環境部船舶安全環境課専門官
"	樋 原 肇	第五管区海上保安本部警備救難部環境防災課長 (代 先川 宣 第一災害対策係長) (同席 岡林 将司 第二災害対策係長)
"	住 吉 洋 臣	第五管区海上保安本部交通部航行安全課長
"	船 橋 一 雄	大阪海上保安監部航行安全課長 (代 角田 武也 第二海務係員)
"	井 口 智 子	神戸海上保安部航行安全課長
事 務 局	伊 藤 雅 之	(公社)神戸海難防止研究会専務理事
"	慶 松 美 雄	" 危険品担当
"	藤 原 升	" 部長補佐

ワンポイントアドバイス（NO.7）

液化ガスタンカーのタンク内のガスを洋上で船外に放出する減圧作業は、死傷事故につながる危険があるので放出口付近の立入禁止措置及び乗員の配置確認を行いましょう。

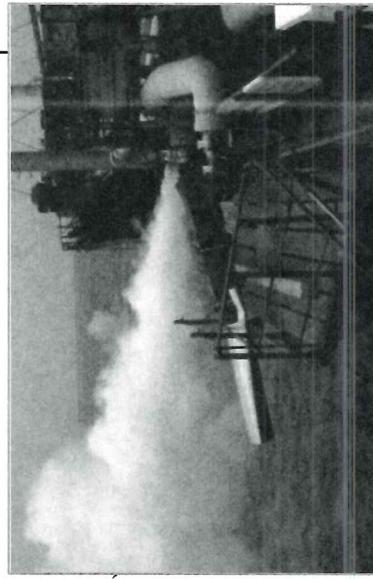
『液化ガスタンカーの減圧作業実施に当たっては、乗組員はヘルメット、救命胴衣及び安全保護具を必ず着用しましょう。』

- ◎ 液化ガスタンカーの減圧作業は、引火や酸欠に加え、放出ガスの圧力で付近の人や物に大きな損傷を与える危険があるので十分注意して行いましょう。
- ◎ 減圧作業実施に当たっては、船長は、乗組員に対して各人の作業内容、配置及び減圧作業においてどのような危険が想定されるか十分に事前説明を行いましょう。
- ◎ 減圧作業の実施前には、危険区域の設定及び立入制限を示すロープ等を設置します。
- ◎ 静電靴等の安全保護具と共に万一の事故に備えヘルメット及び救命胴衣を着用します。
- ◎ 作業責任者は、ガス放出のための最終バルブを開放する直前に、再度放出口付近の安全と乗組員の配置や救命胴衣等の装着が適切か確認します。

事故概要

船積危険品研究委員会事故事例資料 (No. 7)

事案名	大気放出ガスによる1名落水死亡事案
事案概要	<p>(概要) 液化ガス運搬船T丸は、船長ほか6名が乗り組み、H港で揚げ荷役を終了後、積荷役のためY港に向かう途中、運航者がからの連絡で貨物タンクに残った液化プロピレンガス(以下「本件ガス」という。)を大気放出して貨物タンク内の圧力を下げる作業(以下「減圧作業」という。)を行うよう指示を受け、外洋が時化していたことからI湾内で行うこととし、減圧作業の準備を済ませ、人員を配置して荷役配管の元弁を開放したところ、大音響とともに左舷マニホールドから本件ガスが大気中に放出された際、乗組員1名が本件ガスにより左舷マニホールド近くの舷側から2~3メートル飛ばされ、落水し死亡した。</p> <p>本船は、船長、機関長、航海士等7名が乗り込み、積荷役のためY港に向け航行中、運航者がから貨物タンク内に残った液化プロピレンガスを大気放出するよう指示を受け、外洋が時化したことからI湾内で実施することとし、船長は、I水道航路を航行中、船橋で乗組員に対して減圧作業を行った。担当及び作業手順が記載された減圧作業配置表に基づいて説明を行った。</p> <p>某年12月21日09時37分ごろ、I水道航路を通過し、船長が船橋當直に就き、針路を真方位270度に定めて自動操舵とし、対地速力約1ノットで航行しながら減圧作業の準備を行った。</p> <p>司厨長は、居住区に3名所ある水密扉を開鎖した後、船橋の前に立ち、貨物タンクの上部に設けられた通路(以下「フライングパッセージ」という。)の中央部付近にいた一等航海士に対し、両手で頭上に輪を作り、自分が担当する準備作業が完了した旨の合図を送った。</p> <p>一等航海士は、司厨長からとの合図を受け、船長へ減圧作業の準備が完了した旨の報告を行い、船長からホーランドの周辺に人がいないことを確認した後、配置に就いていた乗組員にマニホールドの荷役配管の先端部に取り付けられた弁(以下「先端弁」という。)及び荷役配管の中央部に取り付けられた弁(以下「本件元弁」という。)の開放を確認した後、貨物タンクの簡便用元弁(以下「本件元弁」という。)の開放を確認した。開放を確認した後、開放を確認した後、開放を確認した。</p> <p>乗組員が本件元弁の開放を指示した。乗組員は、大音響と共に左舷マニホールドから本件ガスが放出される状況を確認した。</p> <p>船橋整備にいた乗組員の1人及び本件タンク上部にいた乗組員の1人(以下「乗組員A」という。)は、09時50分ごろ、司厨長が本件ガスにより、左舷マニホールド近くの舷側から2~3メートル離れた海上へ飛ばされるところを目撃し、一等航海士を介して船長へ連絡した。</p> <p>船長は、海面に浮いていた司厨長に向け、浮力を確保するとともに、救出時の目印となるよう、船橋の左舷ウイングにあつた救命浮環を投げ入れ、また、乗組員に対して司厨長を見失わないよう指示を出し、本船を風上から司厨長へ接近させた。</p> <p>司厨長は、落水時、うつ伏せで身動きをせず、気絶したような状態で浮いており、投下された救命浮環を掴むなかつた。</p> <p>本船は、10時00分ごろ、司厨長から約40メートルまで近づき、乗組員Aが、船橋樓前でボートフックを用意し、救助する準備をしていたところ、沈み始めていた司厨長を見失つた。</p> <p>本船は、10時05分ごろ、海上保安庁へ救援を要請し、10時07分ごろ、船舶所有者へ事故の発生を知らせた。司厨長は、発見されず、後日、除籍された。</p> <p>減圧作業配置表によれば、司厨長は、減圧作業中はフライングパッセージ上で温度、圧力及び液面の監視補助を行うこととなっていた。</p> <p>司厨長は、落水時、救命胴衣を着用しておらず、普段着用していた自動膨張式救命胴衣が調理室の水密扉の内側に掛かっていた。</p>
事故に至る経緯	<p>※ 参考資料 ※ 液化エチレンガスタンカーがエチレンガスを洋上で放出してタンクを減圧している状況</p>



【船種】液化ガス運搬船 【総トン数】749トン 【L.B.D】L. 67.00、B 11.50、D 4.85 (m)
【乗組員】船長他3名 【経験年数】: 船長3年以上 【前航海積荷】液化プロピレンガス】

参考とした資料
・船舶事故調査報告書(平成26年12月11日運輸安全委員会(海事専門部会)議決)

神戸港大型クルーズ客船受け入れに係る航行安全対策検討調査 第2回委員会

1 日 時 平成30年5月28日(月)13:30~15:40

2 場 所 ラッセホール 地下1階 リリーの間

3 出 席 者 別紙のとおり

4 議 題

- (1) 第1回委員会議事概要について
- (2) 検討部会報告について
- (3) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果について
- (4) 係留時の安全性検討について
- (5) 入出港に伴う航行安全性の検討について
- (6) 航行安全対策について
- (7) 報告書構成について

5 資 料

- (1) 第1回委員会議事概要(案)
- (2) 検討資料委2-1 ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果係(案)
- (3) 検討資料委2-2 留時の安全性検討(案)
- (4) 検討資料委2-3 入出港に伴う航行安全性の検討(案)
- (5) 検討資料委2-4 航行安全対策(案)
- (6) 検討資料委2-5 報告書構成(案)

席上配布資料

- (1) 席上配布-1 検討資料委2-2 全部差し替え
- (2) 席上配布-2 検討資料委2-3 14ページ差し替え
- (3) 席上配布-3 検討資料委2-4 13ページ差し替え

6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行い、以後、古莊 雅生 委員長により議事が進められた。委員会審議終了後、委託者の神戸市みなと総局 みなと振興部長 田中 誠夫 様より挨拶が行われた。

7 審議結果

提示された検討資料は、一部文言について委員会における意見等を盛り込み修正することを前提に了承された。

以上

出席者名簿

(順不同・敬称略)

※海防研常任委員

委 員 長	古 莊 雅 生	神戸大学大学院海事科学研究科教授 ※
委 員	村 井 康 二	東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授 ※
//	片 岡 徹	大阪湾水先区水先人会会長 ※
//	松 岡 耕太郎	(一社)日本船長協会技術顧問 ※
//	松 浦 寛	日本郵船(株)関西支店支店長代理 ※
//	宮 田 浩	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
//	植 田 博	川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※
//	加 藤 琢 二	神戸旅客船協会会长 (代 山西 哲司 専務理事)
//	大 東 洋 治	兵庫海運組合理事長
//	佐 伯 邦 治	兵庫県港運協会会长 (代 稲田 重彦 専務理事)
//	寄 神 裕 佑	日本押船土運船協会会长 (代 中澤 充宏 寄神建設(株)技術研究所技術計画部次長)
//	寄 神 茂 之	神戸起重機船協会会长 (代 吉川 通 寄神建設(株)執行役員営業統括部長)
関係官公庁	伊 藤 順 郎	第五管区海上保安本部交通部長 (同席 澤埜 光弘 航行安全課海務第二係)
//	古 場 誠 也	神戸海上保安部長 (同席 井口 智子 航行安全課長)
//	杉 中 洋 一	近畿地方整備局港湾空港部長 (代 松本 伸春 港湾計画課長)
//	小 濱 照 彦	神戸運輸監理部海上安全環境部長
委 託 者	田 中 誠 夫	神戸市みなと総局みなと振興部長
//	瀬 沢 孝 至	// // 振興課事業企画担当係長
//	村 井 宏 一	// // 海務課港務係長
//	谷 幸 治	// 技術部計画課計画第1係長

事務局 伊藤雅之 (公社)神戸海難防止研究会専務理事
〃 宮島照仁 〃 事業部調査主幹
〃 藤原昇 〃 部長補佐
〃 大井伸一 (株)MOLマリン理事
〃 藤原千尋 〃 関西事務所所長代理
〃 濱田辰海 〃 研究員

平成 30 年度近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議

- 1 日 時 平成 30 年 6 月 6 日 (水) 13:30 ~ 14:15
- 2 場 所 神戸第二地方合同庁舎 1 階 第 1 共用会議室
- 3 出 席 者 別紙のとおり
- 4 挨 拶 公益社団法人 神戸海難防止研究会 会長 松浦 浩三
第五管区海上保安本部長代理 交通部長 伊藤 卓郎 様
- 5 議 題

- (1) 平成 29 年度近畿・四国地方海難防止強調運動実施結果について
- (2) 平成 29 年の近畿・四国地方における海難発生状況について
- (3) 平成 30 年度近畿・四国地方海難防止強調運動実施計画（案）について
- (4) その他
 - ① 啓発物品等について
 - ② 実施結果報告のお願いについて

6 資 料

- (1) 配布資料 1-1 平成 29 年度近畿・四国地方海難防止強調運動実施結果（概要）について
 - 1-2 平成 29 年度近畿・四国地方海の事故ゼロキャンペーン実施結果について
- (2) 配布資料 2 平成 29 年の近畿・四国地方における海難発生状況
- (3) 配布資料 3-1 平成 30 年度近畿・四国地方海難防止強調運動実施計画（案）
 - 3-2 平成 30 年度全国海の事故ゼロキャンペーん実施計画（全国海難防止強調運動実行委員会）
- (4) 配布資料 4-1 平成 30 年度近畿・四国地方海の事故ゼロキャンペーん関連啓発物品等について
 - 4-2 平成 30 年度全国海の事故ゼロキャンペーん用ポスター等配布表
 - 4-3 平成 30 年度近畿・四国地方における海の事故ゼロキャンペーん実施結果報告について（案）

7 議事概要

事務局より出欠状況の報告、資料確認の後、（公社）神戸海難防止研究会 松浦 浩三 会長の挨拶があり、引き続き、第五管区海上保安本部 伊藤 卓郎 交通部長の挨拶が行われた。

次に事務局及び第五管区海上保安本部から資料（案）の説明が行われた。

1) 議題（1）について、事務局から説明を行った。

- 2) 議題（2）（3）について、第五管区海上保安本部 水田 壮一 交通部安全対策課
安全対策第一係長から説明された。
- 3) 議題（4）について、事務局から説明を行った。平成30年度近畿・四国地方海
難防止強調運動実施計画（案）は了承された。

以上

出席者名簿

(順不同・敬称略) [REDACTED] は欠席者

構成員	池 田 豊 人	近畿地方整備局長 (代 港湾空港部 品質検査官 田中 謙志)
〃	平 井 秀 輝	四国地方整備局長
〃	坂 野 公 治	近畿運輸局長 (代 海上安全環境部 首席運航労務監理官 角谷 敬二郎)
〃	吉 田 正 彦	神戸運輸監理部長 (代 海上安全環境部長 小濱 照彦) (同席 海上安全環境部 調整官 田中 広司)
〃	大 谷 雅 実	四国運輸局長 (代 海上安全環境部 海事保安・事故対策調整官 大西 忠聰)
〃	竹 内 義 明	大阪管区気象台長 (代 気象防災部 気候変動・海洋情報調整官 根本 和宏)
〃	榎木園 正 一	神戸地方海難審判所長 (代 書記 上野 稔洋)
〃	藤 岡 善 計	運輸安全委員会事務局神戸事務所長 (同席 事故調査調整官 梅田 義将)
〃	江 口 静 也	水産庁瀬戸内海漁業調整事務所長
〃	松 岡 耕太郎	一般社団法人 日本船長協会技術顧問
〃	武 田 正 之	公益社団法人 関西小型船安全協会会长 (代 事務局長 平井 寛)
〃	田 渕 訓 生	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長
〃	津 田 哲 夫	全国内航タンカー海運組合葉槽船支部支部長
〃	齋 藤 實	内海水先区水先人会会长 (代 業務部次長 吳藤 兼治)
〃	片 岡 徹	大阪湾水先区水先人会会长 (代 副会長 山田 哲也)
〃	井 垣 篤 司	近畿旅客船協会会长 (代 事務局長 森木 正文)
〃	加 藤 琢 二	神戸旅客船協会会长 (代 専務理事 山西 哲司)

構成員	清水 一郎	四国旅客船協会会长
〃	寄 神 裕 佑	日本押船土運船協会会长 (同席 矢野 正行 寄神建設㈱船舶部 専門部長)
〃	鴨 頭 明 人	全日本海員組合関西地方支部支部長 (代 関西地方支部 副支部長 白木 梓)
〃	斎 藤 洋	全日本海員組合中国・四国地方支部支部長
〃	渡 邊 和 重	大阪湾広域臨海環境整備センター常務理事
〃	堀 江 仁	PW安全協会関西地方本部本部長 (代 三田 泰弘)
〃	森 亮 介	日本郵船㈱関西支店支店長 (代 支店長代理 松浦 寛)
〃	浅 川 敦	川崎汽船㈱関西支店支店長 (代 副支店長・海務監督席 植田 博)
〃	宮 田 浩	㈱商船三井海上安全部部長代理
〃	石 井 昌 平	第五管区海上保安本部長 (代 交通部長 伊藤 卓郎)
〃	寄 神 茂 之	公益財団法人海上保安協会神戸地方本部本部長 (代 事務局長 中野繁陽)
〃	松 浦 浩 三	公益社団法人神戸海難防止研究会会长

(29機関中25機関出席、参加人員28名)

地区推進母体構成員

- 〃 大阪地区海難防止強調運動推進連絡會議議長
(代 実務責任者 大阪海上保安監部 船橋一雄 航行安全課長)
(同席 航行安全課海務一係 田中 崇博)
- 〃 兵庫県阪神淡路地区海難防止強調運動推進連絡會議議長
(代 実務責任者 神戸海上保安部 井口智子 航行安全課長)
- 〃 播磨地区海難防止強調運動推進連絡會議議長
(代 実務責任者 姫路海上保安部 近藤正雄 交通課長)
- 〃 和歌山北部地区海難防止強調運動推進連絡會議議長
(代 実務責任者 和歌山海上保安部 林 高浩 交通課長)
- 〃 紀南地区海上安全対策協議会会长
(代 実務責任者 田辺海上保安部 大嶽範恭 交通課長)
- 〃 徳島地区海難防止強調運動推進連絡會議議長
(代 実務責任者 徳島海上保安部 留置浩司 交通課長)

地区推進母体構成員

〃 高知地区海難防止強調運動推進連絡会議議長
(代 実務責任者 高知海上保安部 河野卓夫 交通課長)

〃 大阪湾海上交通センター所長
(実務責任者 大阪湾海上交通センター 藤原寿文 運用管制課長)
(8機関中8機関出席、参加人員9名)

事務局 公益社団法人 神戸海難防止研究会 専務理事 伊藤 雅之
〃 〃 研究部長 江頭 正人
〃 〃 部長代理 藤原 昇
〃 公益財団法人 海上保安協会神戸地方本部 事務局長 中野 繁陽 (再掲)
(参加人員 3名)

* 出席推進連絡会議構成員 29団体中 25団体
* 地区推進母体構成員 8団体中 8団体
計 37団体中 33団体

他の第五管区海上保安本部同席者

交通部企画調整官 田口 康文
〃 安全対策課長 堀 成吾
〃 〃 安全対策調整官 浦野 貴司
〃 〃 安全対策第一係長 水田 壮一
〃 〃 安全対策第二係長 山沖 学
〃 航行安全課長 住吉 洋臣
〃 〃 専門官 戸川 義徳
〃 〃 海務第一係長 新角 伸浩
警備救難部救難課長補佐 上田 真丘
(参加人員 9名)

(総参加人員数 49名)

《配布資料（抄）》
(案)

平成 30 年度近畿・四国地方海難防止強調運動実施計画

平成 30 年 6 月 6 日
近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議

1 平成 30 年度近畿・四国地方運動方針

平成 30 年度海の事故ゼロキャンペーン実施計画記載の「運動の趣旨」にもあるとおり、海の事故を防止するには海事関係者を始め、広く国民を対象とした全国運動及び主として海事関係者を対象とした地方運動を実施することで、海難防止思想の普及、高揚を図る必要がある。

このため、「海難ゼロへの願い」をスローガンに官民の関係者が一体となって海難防止強調運動を推進することとする。

(1) 重点事項

【全国運動】「海の事故ゼロキャンペーン」

平成 28 年度から 30 年度までの重点事項は次のとおりとする。

- ① 「小型船舶の海難防止」
- ② 「見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進」
- ③ 「ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保」

【地方運動】「霧海難防止キャンペーン」

霧の影響による視界不良時の海難防止

(2) 推進項目

【全国運動】「海の事故ゼロキャンペーン」

- ① 「小型船舶の海難防止」に関する推進項目

イ プレジャー・ボートの発航前等の点検の徹底

プレジャー・ボートによる船舶事故は全体の約 5 割を占め、特に機関故障海難の割合が高い傾向にある。

原因では、機関整備不良によるものが多いことから、下架後、発航前等に船体、機関等の点検を行うことの徹底を図る。

ロ 漁船の適切な見張りの徹底

漁船による海難は全体の約 3 割を占め、特に衝突海難の割合が高い傾向にある。

原因では、見張り不十分によるものが顕著に多いことから適切な見張りの徹底を図る。

ハ 気象・海象情報の入手（地方推進項目）

気象・海象不注意が原因の海難が発生しており、特に小型船舶においては波浪・風浪による影響が大きいため、気象・海象情報の早期把握及び最新の気象・海象情報の入手の徹底を図る。

②「見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進」に関する推進項目

貨物船やタンカー等の大型船舶による海難は衝突海難の割合が高い傾向にあり、原因では操船不適切によるものが多い。

イ 常時適切な見張りの徹底

相手船の存在を認識しているにもかかわらず、不適切な進行により衝突に至る事故が多いことから、B R Mの徹底を図るとともに、船員間にて互いに確認し、常時適切な見張りの徹底を図る。

ロ 船舶間コミュニケーションの促進

次により、早期に船舶間の意思疎通を図り、相手船の動向を把握することで、適切な操船を行う。

- ・早めに相手船にわかりやすい動作をとる
- ・V H Fや汽笛信号等を活用する
- ・A I S情報を活用するとともに、正しい情報を入力する

③「ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保」に関する推進項目

海中転落した乗船者の安全を確保するために、①海上に浮く②速やかな救助要請という2点が必要不可欠であることから、プレジャー・ボート、漁船、遊漁船について自己救命策（ライフジャケット常時着用、連絡手段の確保、118番等緊急電話番号の普及）確保に関する周知徹底を図る。

また、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部改正により、平成30年2月1日から小型船舶に乗船する者への救命胴衣の着用義務範囲が拡大されたことも踏まえて、救命胴衣の着用徹底を目指す。

【地方運動】「霧海難防止キャンペーン」

濃霧による視界不良時における、衝突・乗揚げ海難を防止するため、船舶を運航する方々に注意して頂きたい安全運航のポイントをまとめた「霧五戒」を推進する。

霧五戒

- 一、 気象状況を早期に把握すべし
- 二、 船舶間コミュニケーションを促進すべし
- 三、 航法を守るべし
- 四、 自動操舵装置を適正に使用すべし
- 五、 早期に避泊すべし

2 運動期間

(1) 全国運動「海の事故ゼロキャンペーン」

平成30年7月16日（月）から31日（火）まで（16日間）

(2) 地方運動「霧海難防止キャンペーン」

平成31年4月1日（月）から6月30日（日）まで（3ヶ月間）

3 実施体制

(1) 地方の実施体制

近畿・四国地方においては、近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議が官民一体となり各地区と連携を密にしながら運動を推進する。

(2) 地区の実施体制

近畿・四国各地区においては、関係機関、海事・漁業関係団体等で構成する各地区海難防止強調運動推進連絡会議が官民一体となり運動を推進する。

4 実施事項

関係団体と連携し、以下の事項に積極的に取り組むこととする。

(1) 広報・啓発活動

海難防止にかかる理解を広く浸透させるため、国民一般を対象として、周知・広報活動を積極的に実施する。

- ① テレビ、ラジオ、新聞等公共性の高いメディア、自己組織、傘下組織等が発行する社内外広報誌等あらゆる広報媒体を利用した広報の実施
- ② 自己組織、傘下組織等の管理する庁舎、社屋等へのポスターの掲示
- ③ 各構成員が必要に応じてポスター及びリーフレット等を適宜作成し配布
- ④ 当地方作成の広報用グッズを関係先に配布
- ⑤ 船内放送、場外放送等による周知
- ⑥ インターネットHP、海の安全情報（沿岸域情報提供システム）、電光掲示板等を活用した周知
- ⑦ 各種行事等（体験航海、海上パレード、灯台、船舶等構成員の施設の一般開放、「1日船長」、「1日○○長」などの任命）の関連行事に併せた周知

(2) 安全に関する指導、教育、訓練

各キャンペーン毎の重点事項及び推進項目について、周知・指導等を実施する。

- ① 訪船・現場指導、企業訪問、海難防止講習会、海上安全教室、人命救助訓練等の実施
- ② 可能な限り構成員が相互に連携した活動（合同パトロールを計画するなど）の実施

別添様式

平成30年度近畿・四国地方海の事故ゼロキャンペーン活動報告書

1. 活動実績総括表

組織名

(1) 広報活動

(2) 各種行事

(3) 安全に関する指導・教育・訓練

用途		種別 海の事故ゼロキャンペーン実施対象	
安全運航に関する指導隻数	漁船	隻	人
	プレジャー・ボート	隻	人
	貨物船	隻	人
	木材運搬船(再掲)	隻	人
	タンカー	隻	人
	旅客船	隻	人
	作業船	隻	人
	その他	隻	人
合 計		隻	人
企業等訪問件数		件	人

※ 対象者人数が分かりましたら、御記入ください。

(4) 安全教育関係

種別 項目		実施回数	受講者数
海 上 安 全 教 室		回	人
海 難 防 止 講 習 会		回	人
そ の 他		回	人
合 計		回	人

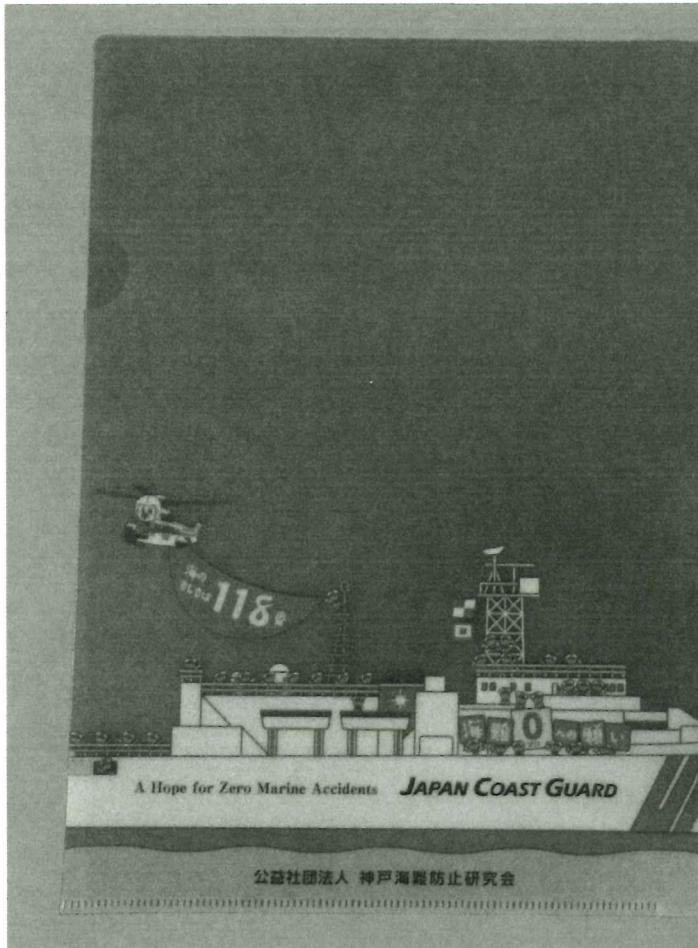
(5) 霧海難関係

2. 留意事項

- (1) 実施計画に基づいた活動を実施した際は、写真撮影のうえ本報告書に添付してください。
- (2) ポスター、パンフレットを掲示した場合は、写真撮影のうえ本報告書に添付してください。
- (3) 各キャンペーンの実施後1ヶ月以内に画像添付のうえ、下記アドレスまでメール又は当会あてに郵送願います。
(撮影された写真は、データもメール又は郵送でお送りください。) re-kainan@kobe-kaibouken.or.jp
- (4) 霧海難防止の啓発を実施した機関は、その内容、参加人員等を記入してください。

平成30年度近畿・四国地方海難防止強調運動用啓発用品

■ クリアファイル



■ メモ帳



■ ウエットティッシュ

会務報告

第55回 業務運営会議

1 日 時 平成30年4月18日(水)12:00~12:25

2 場 所 商船三井ビル 4F 会議室

3 出 席 者 (順不同・敬称略)

議 代 表 理 事 長	松 浦 浩 三	(公社)神戸海難防止研究会会長
業務執行理事	伊 藤 雅 之	(公社)神戸海難防止研究会専務理事
構 成 員	久 保 雅 義	神戸大学名誉教授
"	齋 藤 實	内海水先区水先人会会长
"	片 岡 徹	大阪湾水先区水先人会会长
"	葛 西 弘 樹	(一社)日本船長協会会長 (代 松岡 耕太郎 技術顧問)
"	学 頭 和 也	(株)商船三井関西支店長 (代 宮田 浩 海上安全部部長代理)
"	植 田 博	川崎汽船(株)関西支店副支店長
"	川 手 純 一	(株)ウイングマリタイムサービス (代 松浦 寛 日本郵船(株)関西支店支店長代理)
"	藤 井 寿 夫	(株)神戸製鋼所常任顧問
事 務 局	奥 野 忠 裕	(公社)神戸海難防止研究会総務部長
"	江 頭 正 人	(公社)神戸海難防止研究会研究部長
"	藤 原 昇	(公社)神戸海難防止研究会部長補佐

4 議 題

- (1) 業務報告等について
- (2) 総務部関係委員会等の開催について
- (3) その他

5 資 料

席上配布

資料1 業務報告等

資料2 総務部関係委員会等の開催について

6 議事概要

松浦議長の挨拶があり、引き続き議事に入った。

伊藤業務執行理事より、議題（1）業務報告等について、議題（2）総務部関係委員会等の開催について説明があった。特に意見等はなかった。議題（3）その他について、次回の業務運営会議等の開催予定日について説明があった。

以 上

公益社団法人 神戸海難防止研究会
第19回通常理事会議事録

1 日 時 平成30年5月16日(水) 13時25分から
14時35分までの間

2 場 所 神戸市中央区波止場町5番6号
神戸メリケンパークオリエンタルホテル 4階渚の間

3 理 事 数 17名
出席理事 11名

松浦 浩三 久保 雅義 斎藤 實 桑田 康生
片岡 正憲 大東 洋治 村岡 博 後藤 暢茂
三木 真人 葛西 弘樹 伊藤 雅之

4 監 事 数 3名
出席監事 3名

八木 武人 藤井 寿夫 山本 亨

5 議 案

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算について
第2号議案 第7回定期総会の開催について
第3号議案 入会申し込みの承認について
第4号議案 その他

6 報 告 事 項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

7 議事の経過概要及びその結果

13時25分に開会、事務局から本日の出席理事は11名で、理事総数17名の過半数に達しており、定款第42条（定足数）の規定により本理事会が成立する旨報告した。

定款第41条の規定に基づき松浦会長が議長となり、挨拶を行った後、本日の議事録の署名について定款第45条に基づき、代表理事の松浦浩三会長と出席監事の八木武人氏、藤井寿夫氏及び山本亨氏が行うこととして議事の審議に入った。

議案説明に入る前に、事務局から資料2の「別紙正」及び資料4「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について」を配布し、資料の修正を行った。

○ 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算について

事務局から平成29年度事業報告及び決算について、資料1に基づいて説明を行った。

次いで、山本監事から平成30年4月23日に監査を実施した結果、財産、会計及び業務の執行状況について、適正、正確であった旨の監査報告が行われた後、議長が質疑の有無を確認した上で議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第2号議案 第7回定時総会の開催について

事務局から第7回定時総会の開催について、資料2に基づき説明を行った後、議長が質疑の有無を確認した上で議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第3号議案 入会申込みの承認について

事務局から入会希望者について資料3に基づき説明するとともに、本会への入会は、定款第8条第1項に基づき、理事会において入会の可否を決定する必要がある旨説明を行った後、議長が質疑の有無を確認した上で議案の可否を理事に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第4号議案 その他

以上で、提出された議案についての審議は終了したので、その他何かないか各理事及び監事に諮ったところ、特に意見はなかった。

また、事務局からの連絡事項等もなかった。

引き続き、伊藤専務理事から資料4「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について」に基づき報告がなされた。

以上で、議長は、本日の議案審議の全部が終了した旨を告げ、14時35分に閉会した。

平成30年5月16日

代表理事 松浦浩三

監事 八木武人

監事 藤井寿夫

監事 山本亨

第56回 業務運営会議

1 日 時 平成30年5月23日(水)12:00~12:50

2 場 所 商船三井ビル 4F 会議室

3 出 席 者 (順不同・敬称略) [REDACTED] は欠席者

議 代 表 理 事 長 事	松 浦 浩 三	(公社)神戸海難防止研究会会長
業務執行理事	伊 藤 雅 之	(公社)神戸海難防止研究会専務理事
構 成 員	久 保 雅 義	神戸大学名誉教授
//	齋 藤 實	内海水先区水先人会会长 (代 橋本 孝亮 総務担当副会長)
//	片 岡 徹	大阪湾水先区水先人会会长
//	葛 西 弘 樹	(一社)日本船長協会会长
//	学 頭 和 也	(株)商船三井関西支店長 (代 宮田 浩 海上安全部長代理)
//	植 田 博	川崎汽船(株)関西支店副支店長
//	川 手 純 一	(株)ウイングマリタイムサービス (代 松浦 寛 日本郵船(株)関西支店支店長代理)
//	藤 井 寿 夫	(株)神戸製鋼所常任顧問
オブザーバー	山 田 登	元内海水先区水先人会会长
事 務 局	奥 野 忠 裕	(公社)神戸海難防止研究会総務部長
//	江 頭 正 人	(公社)神戸海難防止研究会研究部長
//	藤 原 昇	(公社)神戸海難防止研究会部長補佐

4 議 題

- (1) 業務報告等について
- (2) 平成29年度事業報告及び決算について (報告)
- (3) 第7回定期総会提出議案について
- (4) 第20回通常理事会提出議案について
- (5) その他

5 資 料

席上配布

資料1 業務報告等

資料2 (公社)神戸海難防止研究会第19回通常理事会議事録抜粋

資料3 第7回定時総会に関する資料

資料4 第20回理事会に関する資料

6 議事概要

松浦議長の挨拶があり、引き続き議事に入った。

伊藤業務執行理事より、議題（1）業務報告等についてから、議題（4）第20回通常理事会提出議案についてまで、順次説明があった。特に意見等はなかった。議題（5）その他について、次回の業務運営会議等の開催予定日について説明があった。

以上

公益社団法人 神戸海難防止研究会
第7回 定時総会議事録

- 1 日 時 平成30年6月15日（金） 16時02分から
16時41分までの間
- 2 場 所 神戸市中央区波止場町5番6号
神戸メリケンパークオリエンタルホテル 4階瑞天東の間
- 3 正会員総数 109名
- 4 出席正会員数 100名
うち、出席者42名、書面表決賛成者58名、表決委任者0名
- 5 出席理事 11名
松浦 浩三 久保 雅義 斎藤 實 片岡 徹
伊藤 雅之 桑田 康生 内田 誠 村岡 博
後藤 暢茂 植田 博 三木 真人
- 6 出席監事 3名
八木 武人 山本 亨 藤井 寿夫
- 7 議案
第1号議案 平成29年度事業報告及び決算について
第2号議案 役員（理事・監事）の選任について
第3号議案 その他
- 8 議事の経過概要及びその結果
16時02分に開会
事務局から本日の出席正会員は100名であり、正会員総数109名の過半数を超えていたので、定款第21条の規定により本総会が成立する旨報告が行われた。
議案説明等に入る前に、事務局から「第7回定時総会資料1」の訂正箇所について口頭で説明し、資料の修正を行った。（別添修正資料のとおり）
次いで、総会の開会にあたり松浦会長から挨拶が行われた。
事務局は、定款第19条の規定に従い議長の選任を議場に諮った結果、松浦会長が選ばれて議長になった。
議長は、議事録署名人について議場に諮り、出席会員の中から議長の松浦浩三氏、伊藤雅之氏及び山本亨氏を選任し、議案の審議に入った。

○ 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算について

事務局から平成29年度事業報告及び決算について、配布資料1に基づいて説明が行われた。

次いで、山本監事が平成30年4月23日に監査を実施した結果、財産、会計及び業務の執行状況について、適正、正確であった旨の監査報告が行われた。

議長が、質疑を議場に求めたところ、特に発言がなかったことから議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第2号議案 役員（理事・監事）の選任について

事務局から現在就任中の理事17名及び監事3名の任期は、本年度定時総会までとなっており、本日開催の第7回定時総会の議決によって選任される旨の説明後、配布資料2に基づいて新理事及び新監事並びに重任の理事、監事について説明を行うとともに定款第32条の理事、監事の任期について説明が行われた。

議長が、質疑を議場に求めたところ、特に発言がなかったことから議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された

○ 第4号議案 その他

議長が、他に議案はないか発言を求めたところ、事務局から他に議案はないと報告が行われ、また、議場からの発言もなかった。

以上で、議長は、本日の議案審議の全部が終了した旨を告げ、16時41分に閉会した。

平成30年6月15日

議長 松浦 浩三

議事録署名人 伊藤 雅之

議事録署名人 山本 亨



総会時風景

公益社団法人 神戸海難防止研究会
第20回 通常理事会議事録

- 1 日 時 平成30年6月15日(金) 16時50分から
17時10分までの間
- 2 場 所 神戸市中央区波止場町5番6号
神戸メリケンパークオリエンタルホテル 4階瑞天東の間
- 3 理 事 数 19名
出席理事 16名
山田 登 久保 雅義 森 亮介 片岡 徹
松浦 浩三 伊藤 雅之 奥原 徳男 斎藤 實
桑田 康生 村岡 博 三木 真人 袋本 浩
後藤 暢茂 内田 誠 堀 晶彦 植田 博
- 4 監 事 数 3名
出席監事 3名
芝本 明 藤井 寿夫 山本 亨
- 5 議 案
第1号議案 代表理事会長、副会長及び業務執行理事の選定について
第2号議案 業務運営会議構成員の委嘱について
第3号議案 常勤役員等の退職慰労金について
第4号議案 入会申し込みの承認について
第5号議案 その他
- 6 議事の経過概要及びその結果
16時50分に開会、事務局から本日の出席理事は16名で、理事総数19名の過半数に達しており、定款第42条(定足数)の規定により本理事会が成立する旨報告された。
定款第41条の規定に基づき会長が議長となり議事の審議に入るところであるが、本通常理事会は理事全員改選直後の理事会に当たることから、理事会運営規程第6条第2項の後段の規定により議長の推薦等を議場に諮ったところ事務局が推薦した山田理事が選任され、本日の議事録署名人に関して定款第45条に基づき、代表理事の松浦理事及び本日の第1号議案において代表理事に選任された方と出席監事の芝本明氏、藤井寿夫氏、山本亨氏にお願いして議事の審議に入った。

議案説明に入る前に、事務局から資料4を配布し、資料の追加を行うとともに、追加理由を説明した。

○ 第1号議案 代表理事長、副会長及び業務執行理事の選定について

第7回定期総会において、理事、監事全員の選任が了承されたことから、事務局から資料1により定款第27条に基づき、代表理事長、副会長及び業務執行理事の選定について、説明が行われた。

また、代表理事長及び業務執行理事（常務理事）について、本年4月25日に役員候補者評価委員会を開催し、同委員会から適任である旨の評価を得たことを報告した。

議長が、質疑を議場に求めたところ、特に発言がなかったことから議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第2号議案 業務運営会議構成員の委嘱について

第7回定期総会において、理事、監事全員の選任が了承されたことから、事務局から資料2により業務運営会議規程第3条第2項に基づき、業務運営会議構成員として資料2のとおり委嘱することの同意を求めたい旨の説明が行われた。

議長が、質疑を議場に求めたところ、特に発言がなかったことから議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第3号議案 常勤役員等の退職慰労金について

事務局から資料3により退職する松浦前会長に役員等の報酬等及び費用に関する規則第5条第3項に基づき、退職慰労金を支給する旨の説明が行われた。

議長が、質疑を議場に求めたところ、特に発言がなかったことから議案の可否を議場に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第4号議案 入会申込みの承認について

事務局から入会希望者について資料4に基づき説明するとともに、本会への入会は、定款第8条第1項に基づき、理事会において入会の可否を決定する必要がある旨説明が行われた後、議長が質疑の有無を確認した上で議案の可否を理事に諮ったところ、満場一致で原案のとおり可決された。

○ 第5号議案 その他

議長が、他に議案はないか発言をもとめたところ、事務局から他に議案はないと報告が行われ、また、議場からの発言もなかった。

以上で、議長は、本日の議案審議の全部が終了した旨を告げ、17時10分に閉会した。

平成30年6月15日

議長 山田 登
代表理事

代表理事 松浦 浩三

監事 芝本 明

監事 藤井 寿夫

監事 山本 亨

○ 事務日誌抄

(H30. 4. 1～H30. 6. 30)

月 日	曜 日	時 間	委 員 会 名	実 施 場 所
4. 18	(水)	1200	第55回業務運営会議	商船三井ビル4F会議室
4. 23	(月)	1530	平成29年度業務・会計監査	神戸海難防止研究会会議室
4. 24	(火)	1325	神戸港大型クルーズ客船受入れに係る航行安全 対策検討調査 検討部会	ラッセホール
4. 25	(水)	1300	役員候補者評価委員会	神戸海難防止研究会会議室
4. 26	(木)	1500	第55回月例会	こうべまちづくり会館
5. 8	(火)	1330	平成30年度第1回船積危険品研究委員会	商船三井ビル4F会議室
5. 16	(水)	1325	第19回通常理事会	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5. 23	(水)	1200	第56回業務運営会議	商船三井ビル4F会議室
5. 25	(金)	1500	第56回月例会	こうべまちづくり会館
5. 28	(月)	1330	神戸港大型クルーズ客船受入れに係る航行安全 対策検討調査 第2回委員会	ラッセホール
6. 6	(水)	1330	平成30年度近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議	神戸地方第二合同庁舎
6. 15	(金)	1600	第7回定時総会	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
〃	〃	1650	第20回通常理事会	〃

○ お 知 ら せ

■ 平成30年度 海の事故ゼロキャンペーン（7月16日～31日）

JCG 海上保安庁
愛します。守ります。日本の海
JAPAN COAST GUARD

2018 7/16~31

海難への願い A Hope for Marine Accidents

海の事故ゼロキャンペーン

Zero Marine Accidents Campaign

重点事項 1 小型船舶の海難防止
Prevention of Marine Accidents for Small Vessels

重点事項 2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
Thorough lookout and promotion of communication between vessels

重点事項 3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保
Securing of self-rescue measures such as wearing a life jacket at all times

主催／(公社)日本海難防止協会 (公財)海上保安協会 海上保安庁
後援／総務省 スポーツ庁 水産庁 國土交通省 海難審判所 気象庁 運輸安全委員会 (公財)日本海事センター

海の情報はここでGET!
○ 海の安全情報 ○

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。
海の安全情報で検索

2018 ミス日本「海の日」 山田 理美

JAPAN COAST GUARD

海の安全情報

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」を提供しています。

「海の安全情報」は、インターネットを通じて誰でも簡単に利用することができます。

スマートフォン用サイトの表示

各情報のアイコンをタップすると情報の件名等が表示され、さらにタップすると詳細な情報が表示されます。

気象現況
■ 気象現況のアイコンをタップすると「風向、風速等」の数値等が確認できます。

海域情報
■ 海域の形態をタップすると船舶事故が多い発生する海域などの情報を確認できます。

現在地の位置
■ 現在地の緯度・経度を表示します。

緊急情報
■ 緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に影響のある緊急情報を確認できます。

気象警報・注意報等
■ 気象警報・注意報等をタップすると気象庁が発表する気象警報・注意報等を確認できます。

※イメージ図です

パソコン用サイト QRコード スマートフォン用サイト QRコード 進捗登録用ページ QRコード

緊急情報配信サービス
24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報等を電子メールで配信します。

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

海の安全情報 で 検索

Zero Marine Accidents Campaign

海のゼロ事故キャンペーン

2018 7/16 ~ 31

海難0への願い
A Hope for Zero Marine Accidents

■ JCG (日本海岸警備隊) 事務局、支局、支所、関係機関
■ 全国各地の海上保安部、港湾部、港務部、港湾事務部
■ 海上保安官、海上保安員、海上保安官候補官、海上保安官准候補官

2018 ミス日本「海の日」 山田 麻衣

重点事項1 小型船舶の海難防止
Prevention of Marine Accidents for Small Vessels

出航する前にはしっかりと確認、航海予定の周知を!!

プレジャーボートのエンジントラブルが増加しています。下架後や出航する前には

- 燃料 ●エンジンオイル
- バッテリー ●冷却水 など

の検査を確實に行い、安全運航を心がけましょう。また、家族やマリーナ等に航海予定を伝えておくなど、万が一に備えましょう。

重点事項2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
Thorough lookout and promotion of communication between vessels

海難で一番多いのが衝突であり、原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」が多数を占めています。

1 常時適切な見張りの徹底
「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

2 船舶間コミュニケーションの促進
十分に余裕のある時期に船舶間コミュニケーションを図り、相手船の動きを把握し、適切な操船を行いましょう。

- 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
Take the easy-to-understand behavior to other vessel as soon as possible.
- 国際VHFや汽笛信号などを活用する
Take advantage of the International VHF or whistle signal.
- AIS情報の活用と正しい情報の入力
Take advantage of AIS information, and enter the correct information.

3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保
Securing of self-rescue measures such as wearing a life jacket at all times

万が一、海に転落した場合、①海上に浮く②速やかに救助要請という2点が必要不可欠です。

1 ライフジャケットの常時着用
2 適切な通話手段の確保
3 海の緊急通報

モーターボートや水上オートバイなどのプレジャーボート、その他の小型船舶を安全に利用していただきため、小型船舶操縦者(船長)に対し、法令で遵守事項を定めています。

- 酒酔い等操縦の禁止
- 危険操縦の禁止
- 免許者の自己操縦
- ライフジャケットの着用
- 見張りの実施
- 発航前の検査
- 事故時の人命救助

平成30年2月1日以後、小型船舶の船室外の甲板上では、原則、すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務となりました！